

TO 東京 KYO

カイシャパッケン伝!

Guide^{vol.}15



特集

コレだけは押さえておきたい
就活マナー

社会人に

必要な能力って何?

余暇の達人アルバム

就活前に知りたい
訪問マナーと
社会人スキル

ハッケンしよう！ 中小企業の魅力



東京都内の中小企業数は約45万社。企業数全体の約99%を占めています。
 その中には、高い技術力や先進的なビジネスモデルを持つ企業、働きやすい雇用環境整備に積極的に取り組む企業など、特徴ある企業が多く存在します。
 地域社会や経済の活性化を担い、成長を支える中小企業。このGUIDEを通して、ぜひ、その魅力をハッケンしてください。

CONTENT

就活前に知りたい訪問マナーと社会人スキル

- 特集1 コレだけは押さえておきたい 就活マナー 3
- 特集2 社会人に必要な能力って何？ 5
- 特集3 “余暇の達人”アルバム 7

企業Interview

業種別アイウエオ順

 株式会社安城製作所 城東 9
株式会社インボディ・ジャパン 城東 11
FSX株式会社 多摩 13
有限会社小堀加工所 城東 15
三立金型工業株式会社 城南 17
株式会社城東特種自工 城東 19
帝国インキ製造株式会社 城東 21

東京地区マップ



中央・城北地区

千代田区・中央区・新宿区・文京区・中野区・杉並区・豊島区・北区・板橋区・練馬区

城南地区

港区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区

城東地区

台東区・墨田区・江東区・荒川区・足立区・葛飾区・江戸川区

多摩地区

八王子市・立川市・武蔵野市・三鷹市・府中市・昭島市・調布市・町田市・小金井市・日野市・国分寺市・国立市・狛江市・東大和市・武蔵村山市・多摩市・稲城市・小平市・東村山市・西東京市・清瀬市・東久留米市・青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・瑞穂町・日の出町・檜原村・奥多摩町



株式会社ガジェログ 城南 23
株式会社コンセント 城南 25
株式会社YAZ 城南 27
ライトクルー株式会社 城東 29



金澤建設株式会社 多摩 31
木本建興株式会社 多摩 33
株式会社ジョスコム 城南 35
株式会社マサル 城東 37



株式会社インフォレント 城東 39
エビヌマ株式会社 城東 41
株式会社大原セレモニーハート 城東 43
株式会社ケア・ウイング 中央・城北 45
株式会社光陽社 中央・城北 47
サンプリント株式会社 城南 49
武陽ガス株式会社 多摩 51
株式会社メガネ・コンタクトの井上 中央・城北 53

「トーキョー・シゴト・ワゴン」のお知らせ

東京都からのお知らせ

※紹介企業は、高い技術力だけでなく、若者や女性の採用意欲があり、社員の教育制度や職場環境整備に取り組み、国や東京都から表彰や認定を受けているなど、「働きやすさ」を重視して選定しています。
 (例) 東京都中小企業技能人材育成大賞、東京ライフ・ワーク・バランス認定企業、ユースエール認定企業、東京商工会議所「勇気ある経営大賞」等。

TO 東京 KYO カイシャハッケン伝!
 URL <http://www.kaisyahakken.metro.tokyo.jp>



本号に掲載されている企業の地域区分

中央・城北地区 3社

株式会社ケア・ウイング
 株式会社光陽社
 株式会社メガネ・コンタクトの井上

多摩地区 4社

FSX株式会社
 金澤建設株式会社
 木本建興株式会社
 武陽ガス株式会社

城東地区 10社

株式会社安城製作所
 株式会社インフォレント
 株式会社インボディ・ジャパン
 エビヌマ株式会社
 株式会社大原セレモニーハート
 有限会社小堀加工所
 株式会社城東特種自工
 帝国インキ製造株式会社
 株式会社マサル
 ライトクルー株式会社

城南地区 6社

株式会社ガジェログ
 株式会社コンセント
 サンプリント株式会社
 三立金型工業株式会社
 株式会社ジョスコム
 株式会社YAZ

就活マナー

お押しきたいて

コレだけは



きちんとした身だしなみや態度は、自分の印象をアップさせるためだけでなく、相手に敬意を示すことにもつながる大切なマナーです。就職活動における基本的な身だしなみや、会社訪問時に注意したい点を押さえておきましょう。

身だしなみ・持ち物編

男性の身だしなみ

- 短髪を基本に、前髪は顔や目が隠れない程度に
- 寝ぐせやひげの剃り残しに注意する
- ワイシャツは白い無地が基本。色付きやボタンダウンは避ける
- ネクタイはスーツの色に合わせ、シンプルな色・柄を選ぶ
- パンツはセンタープレスをキレイに付けておく
- 靴下はスーツと同色か、黒や紺系
- 靴は黒を基本に、磨いておく

女性の身だしなみ

- 長い髪は後ろで結び、前髪は顔や目が隠れない程度に
- メイクは厚化粧にならず自然に
- アクセサリーは身に付けない
- 爪は短く切り、ネイルをする場合は透明なマニキュアにとどめる
- スカートは膝丈くらい
- ストッキングは肌色、伝線した時の替えも用意
- 靴はスーツの色と同色系でシンプルなパンプス

リクルートスーツは、黒、紺、ダークグレー系の色を基本に、2~3つボタンのシンプルなデザインのものが見まわしいでしょう。相手を不快にさせないよう、さわやかさや清潔感を心掛けましょう。

共通の注意点:

- 派手な髪色やパーマは避ける
- スーツにシワや汚れがないか、ボタンがほつれていないかチェック
- スマートフォンや鞆はA4サイズが入り、シンプルなデザインで、床に置いても自立する底が安定したもの

持ち物

- スケジュール帳
- エントリーシート、履歴書、職務経歴書
- 会社案内、募集要項、資料など
- 筆記用具(ペンやメモ帳)
- スマートフォン、携帯電話
- 応募先(採用担当部署)の電話番号、担当者名のメモ
- 腕時計
- 現金
- ハンカチ・ティッシュ
- 学生証、身分証明書

あると安心!

- 予備の証明写真
- 印鑑
- 手鏡
- 折り畳み傘

会社訪問編

どんなに身だしなみを整えても、行動が伴っていないければ台無しです。社会人になるための心構えや礼儀が身に付いているかを判断されることもありますので、明瞭な話し方や挨拶はもちろん、節度のある態度、行動を心掛けましょう。



時間に余裕を持って訪問しましょう。

道順や所要時間を事前に調べておくことはもちろんですが、電車が遅延したり、道に迷ったりする可能性もありますので、早めの行動を心掛けましょう。



受付は予定時刻の10分前を目安に済ませましょう。

遅刻は厳禁ですが、早すぎる到着もNGです。先方も直前まで予定があったり、準備や迎える支度が整っていない場合がありますので、迷惑を掛けないようにしましょう。



コートは、会社の建物に入る前に脱ぎましょう。

コートは裏返して二つ折りにし、腕にかけて持ちましょう。入室後は自分のカバンの上に置くのがマナーとされています。



スマートフォンや携帯電話は、機内モードにするか、電源を切りましょう。

マナーモードにしても、バイブレーションの音は目立ちます。着信音だけでなく、アラームも鳴らないよう気を付けましょう。



受付では自分から名乗りましょう。

相手から聞かれてから答えるのではなく、自分から学校名・学部名、名前(フルネーム)とともに、訪問相手の氏名、用件を伝えましょう。



面接以外の場でも態度に気を付けましょう。

控室などで、友人や同席した学生と大声で話したり、スマートフォンをずっと触っているとマイナスな印象を与えます。面接以外の場でも緊張感を持ち、見られていることを意識しましょう。

社会人に必要な能力って何？



社会人として働く上で、どのようなスキルが必要なのでしょう？
また、どういった能力を磨けば良いのでしょうか？

経済産業省が定義した「社会人基礎力」をもとに、
企業の方々に、自社の社員にどのような能力を求めているかを伺いました。

経済産業省は2006年に、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎力」として、「社会人基礎力」を定義しました。

この社会人基礎力は、3つの能力と12の能力要素で構成され、個々人が持つ「基礎学力（読み・書き・算数・基本ITスキル等）」と「専門知識（仕事に必要な知識や資格等）」を、最大限発揮するために必要不可欠な能力とされています。

また、2018年には、自らのキャリアを切り拓いていくための「3つの視点」が新たに加えられ、「新・社会人基礎力」として見直されています。

※経済産業省 資料より

新・社会人基礎力

3つの能力 / 12の能力要素

前に踏み出す力

- 主体性
- 働きかけ力
- 実行力

考え抜く力

- 課題発見力
- 計画力
- 創造力

どう活躍するか
【目的】
自己実現や社会貢献に向けて行動する

3つの視点

どのように学ぶか
【組合せ】
多様な体験・経験や能力を組み合わせる

何を学ぶか
【学び】
学び続けることを学ぶ

チームで働く力

- 発信力
- 傾聴力
- 柔軟性
- 状況把握力
- 規律性
- ストレスコントロール力



※経済産業省「新・社会人基礎力」より

3つの能力 / 12の能力要素

前に踏み出す力 アクション

一歩前に踏み出し、
失敗しても粘り強く取り組む力

- 主体性 物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力 目的を設定し確実に行動する力



考え抜く力 シンキング

疑問を持ち、考え抜く力

- 課題発見力 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力 新しい価値を生み出す力



チームで働く力 チームワーク

多様な人々とともに、
目標に向けて協力する力

- 発信力 自分の意見を分かりやすく伝える力
- 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性 社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力



武陽ガス株式会社
総務部 小澤 部長

主体性 &
実行力

自分から「主体的に動く」こと、考えるだけでなく「実行に移す」ことが重要だと考えています。

実は、当社はこれまで“受け身の会社”でした。しかし、ガスの小売り自由化によって地域の都市ガスが当社の独占市場ではなくなり、もう受け身ではられない状況です。お客様に対して主体的に行動できる人材を求めています。

詳しい企業情報は 51 ページへ



FSX 株式会社
藤波 社長

主体性

仕事を自分事として捉え、自ら考え、課題を解決しようとする。日々の個人の業務においても、部署やチームでの作業においても、まずは主体性を持てるかどうかだと思います。それが会社にとっては有益であり、本人にとっても探求心や向上心が生まれ、スキルがどんどん身に付き、新たな仕事にも興味をわいてくるはずですよ。

詳しい企業情報は 13 ページへ



ライトクルー株式会社
久保田 専務

課題発見力

システムを作る上では、問題を見抜くことが大事です。コンピュータは人が作るものなので、完璧のように見えてもどこかに必ず欠陥が潜んでいます。正常に動作させるためには、そうした欠陥をなくした状態でお客様に提供しなければいけません。注意深く不具合を見つけて、一つひとつ潰していく力が重要です。

詳しい企業情報は 29 ページへ



三立金型工業株式会社
石田 会長

創造力

「人間は考える葦である」というように、考えることは生きることそのものです。考え抜くことで自己の確立ができ、尊厳が生まれます。私は震災を機に、社会のお役に立てることを考えて、新規事業として女性用携帯トイレの開発を行い、イノベーションを起こすことができました。

詳しい企業情報は 17 ページへ



サンプリント株式会社
両国オフィス
鹿島 さん（入社6年目）

状況把握力

職場では、いつも複数の案件が同時並行しています。納期までに成果物を仕上げるには、それぞれの業務に必要な時間や労力をクリアにし、優先順位を付けてリズムよくこなしていくことが大切。全体をコントロールするとりまとめ業務は、周囲との調整もポイントになって来るので、状況把握力が問われるシーンが多いと感じます。

詳しい企業情報は 49 ページへ



株式会社 YAZ
田中 代表

傾聴力

顧客の課題を発見し解決に導くためには、相手の話をよく聞くことから。社会人になったら「自分目線だけ」は卒業して、顧客という「相手」の目線、「会社」の利益を考える視線を持つべきです。チームで仕事を進めていく上でも、「まずは、相手の話を聞くこと」。その姿勢が円滑な仕事のカギです。

詳しい企業情報は 27 ページへ

特集

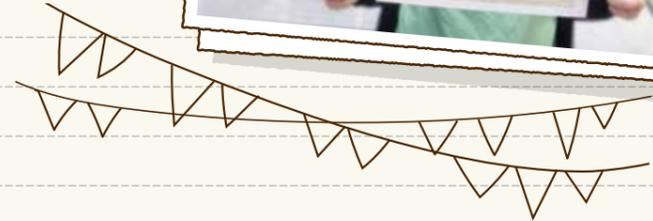
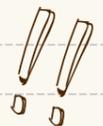
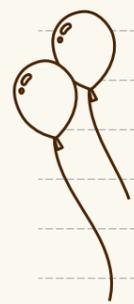
"余暇の達人"アルバム

趣味や自己啓発、ボランティア…。プライベートな時間で得た知識や経験を仕事の中で活かしたり、モチベーションアップにつなげたりするビジネスパーソンが増えています。「ライフ・ワーク・バランス」を体現する皆さんの、充実した余暇の過ごし方を紹介します！

1

株式会社コンセント
プロデューサー
橋本さん(入社15年目)

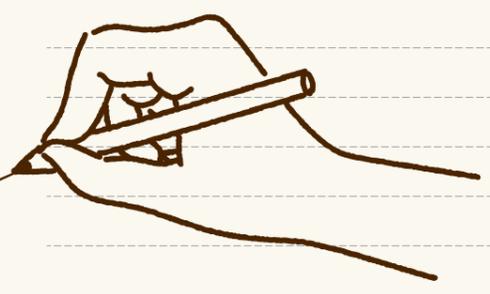
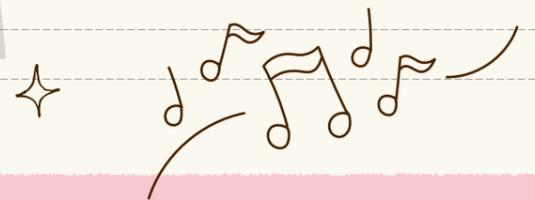
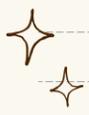
産前産後休業を取得したことが、自身の働き方を見直す契機になり、ワーク・ライフバランスコンサルタントの民間資格を取得しました。私が目指すのは、「社員全員が自分のやりたいことを実現でき、成果が発揮できる職場」を作ること。それは、子育てをしながら働く社員も例外ではありません。現在は、誰もが働きやすい職場の構築に向け、労務の仕事を兼務しています。



2

金澤建設株式会社
金澤社長

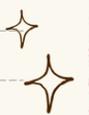
サバイバル・ゲームをやっていると、“人”がよく見えるんです。普段、無口な人が最前線で撃っていたり、反対に立派なことを言う人が後ろでこそこそ隠れていたり……。(笑)。人の本性や行動力が見えてくるので、意外と経営者でやっている人も多いですよ。



3

株式会社インボディ・ジャパン
営業部 佐藤さん(入社3年目)

僕は社会人のサッカーチームに入っていて、休日は練習や試合をしています。怪我をすることも多くあります。怪我をすると、当社の体成分分析装置“InBody”で測った数値が変わり、治るとまた変わります。営業ではそのリアルな数値の話ができるので、仕事にも役立っています。



3



帝国インキ製造株式会社
T3C SICMA
川原さん(入社2年目)

趣味は、中学生のときに始めたレザークラフト。自分好みの形と色で作った定期入れは、今も日常使いに。自分で描いた完成イメージに向かって緻密な作業を積み重ねるといふ点は、今の仕事を進める上でも、大変役立っています。



エビヌマ株式会社
海老沼会長

中学生の頃から柔道をやっていて、現在は八段。地元の子ども達への指導もしています。「地域社会への貢献」を企業理念に掲げているので、そのような形で地域と関わることも大切だと考えています。その結果、大会の参加賞に当社の文房具を採用していただくなど、仕事につながっています。

4



株式会社安城製作所
会社概要

- 設立年：1988年12月
- 資本金：1,000万円
- 代表取締役：安城 正博
- 従業員数：17名
(内、女性従業員4名)
- 〒123-0853
東京都足立区本木 2-8-6
- TEL：03-3849-6877
- 事業内容：
リフロー・フロー装置、レーザー装置、
半導体製造装置、包装機器の部品加工



制度面のみならず、設備面でもいると新しく変わっています。

例えば、工場は敷地内に3か所と、道路を挟んだ斜め向かいに1か所ありますが、斜め向かいの工場は最近きれいに改装したばかり。倉庫を併設しており、大きなエアコンを導入したので作業も快適です。

改装した工場の2階の一室には休憩スペースも設けられました。もともと住居だった場所を改装したのでキッチンもあり、昼食を取るなど社員の憩いのスペースになっています。休憩の際に導入したばかりの最新タッチパネル式の機械について、今後の活用方法を皆と話すのが、最近の楽しみです。

(青木さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



ことで、社員の責任感が増し、コミュニケーションも増えました。良い効果が現れていると思います」(安城社長)

また同社には、2時間以上の残業はしないという決まりがある。新しい部品を作る際は予想以上に時間がかかる場合もあるが、その経験を次に活かし、各々が責任を持って時間管理を行っていると言城社長は話す。

「体力を使う仕事なので、しっかり休むことが大切。社員に無理のない範囲で仕事を受けるようにしています」

現在は社長自らが海外の工場を訪問して商談をしたり、ニーズを聞き出したりと、海外のお客様とも接点を作っているという。そうした海外企業とのつながりも、すでに付き合いのある国内企業からの紹介だ。「口コミ」で同社の信頼が広がっていくのは、高い品質と技術があってこそだといえよう。

また入社して数カ月経つと、お客様の製造現場を訪問する。「自分たちが作っている部品は、こんなに大きな機械で使われているんだ」と実感できるという。個々の成長に合わせて十分な期間をとって指導しており、今後は社員の希望を聞きながら外部研修も取り入れる予定だ。

「作る部品の種類が多いということは、それだけたくさんの知識を持っていなければいけないということです。1日に何種類もの部品を作るので、上達するのも速いですね」(安城社長)

現場が主体性を持つことで
風通しの良い職場に

安城製作所では現在、各部門にリーダーを設け、権限移譲を行って現場の判断で仕事を進めている。

「現場の社員を中心に仕事を進める



同社で作っている部品には精密な加工技術が求められる



「体も頭も使いますが、ものづくりは楽しいですね」と話す安城社長



入社3年目の旋盤部の青木さん。「部品が完成したときは達成感があります」



工場内では真剣な様子で加工作業をする姿が見られる



迫力のある大型機械で精密な部品が作られていく



多品種生産を強みに技術を磨き
お客様の“ものづくり”を支える存在に

株式会社安城製作所

多品種少量生産を得意とし、幅広い業種の企業を顧客に持つ安城製作所。半導体製造装置などに使われる多種多様な部品をニーズに合わせて製造し、ものづくりの基盤を支えている。お客様の「口コミ」が国内外に広がる背景にあるのは、確かな技術力と柔軟な提案力だ。

現場に近い立場で提案し
お客様とともに成長

リフロー・フロー装置*や半導体製造装置、包装機械などに使われる部品の加工を行う安城製作所。以前は包装機械の部品のみを扱っていたが、食品や錠剤の包装形態は商品ごとに異なるため、多種多様な部品を製造していた。そのときに培った経験を活かし、現在は「多品種少量生産」を得意として様々な部品を作っている。安城社長は次のように話す。

「最近は特に、お客様が新製品を開発するための機械の部品を積極的に受

注しています。量産化された場合は大量生産につながりますし、製品開発のお手伝いができるのは面白いですね」

また、ただ依頼を受けたものを作るだけでなく、お客様への提案も積極的に行っている。

「現場に近い立場で提案できるので、お客様も喜んでくれます。お客様とともに成長できています」

現在は幅広い業界から依頼を受けているが、既に付き合いのある会社から別の会社へと紹介されて仕事につながることも多いという。他社で作れなかった部品を、「安城製作所なら作れるのではないか」と依頼されること

からも、同社の信頼度の高さが伺える。

※ はんだ付けを行う装置。

“多品種”だからこそ
成長のスピードも速い

新入社員は入社後3カ月間が試用期間となり、簡単な作業を通じて仕事内容を覚えていくが、入社半年の旋盤部の小坂さんは、同社の魅力を“社員の人の人柄”だと話す。

「職人気質なイメージがありましたが、社員の皆さんは良い人ばかり。失敗しても『ここがダメだったから、こうしたらいいよ』と丁寧に分かりやすく教えてくれます」

株式会社インボディ・ジャパン
会社概要

- 設立年：2000年6月
- 資本金：5,000万円
- 代表取締役：山之内 大蔵
- 従業員数：74名
(内、女性従業員10名)
- 〒136-0071
東京都江東区亀戸1-28-6 タニビル
- TEL：03-5875-5780
- <https://www.inbody.co.jp>
- 事業内容：
健康機器、医療機器等の販売・修理



社内にある卓球台で練習をしたり試合をしたり、皆で盛り上がっています。初めは休憩時間に、何となく気分転換をするつもりで始めたのですが、皆、そのうちに本気になってしまって(笑)。就業時間後、タイムカードを押してから残って熱中する人、マイ・ラケットを持参する人、それから今度千葉県で行われる混成オープン卓球大会に出るという者も何人かいます。卓球でダイエットに成功したという社員もいますし、健康づくりで社会に貢献しようという会社の休憩時間の過ごし方としてはとても良いと思いますよ。
(川越さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



購入していただけるというものではありません。それだけに、お客様に納得していただけるよう、正しい製品知識や使用方法を私たち自身が学び続ける必要があるのです」

製品を売るだけでなく
使い続けてもらうために

「当社のキャッチコピーは“Makes life better”で、健康づくりを通して社会に貢献する会社です。ですから、製品をただ購入していただいても、使わずに置いたままにされてしまっては意味がありません。お客様に正しく使い続けていただくためにも、その情報を提供する当社の社員教育に一層力を入れていきたいと思っています」(柴田部長)

「社会に貢献する」という強い意志が、同社の成長を支えている。

究機関、工場を見学し、韓国の本社で受験する。そこでの合格率は約3割と難関だが、合格すれば「インボディ講師」を名乗ることができ、手当も支給される。

営業部で入社3年目の佐藤さんは「僕も資格を取りました。試験は韓国本社の経営トップを前に20分程度プレゼンし、質問に答えるという形です。プレゼンが得意だったため、緊張せずに受けることができました」と話す。同じく営業部で入社2年目の川越さんも有資格者だ。川越さんは、元々自分の身体を鍛えることが好きだったが、同社に入社して健康の重要性について理解を深め、現在は休憩時間にも積極的に身体を動かしているという。

また、営業部で入社2年目の前多さんは次のように語ってくれた。

「当社が扱う製品は高額なものもあるため、お客様と連絡を取ってすぐに



事業内容について説明する柴田部長



社内にはフリードリンクのカフェもある



社内資格の受験について語る佐藤さん



打ち合わせや休憩に使えるスペースで談笑する前多さん



体成分分析装置。簡単、迅速に体成分の精密な測定を行うことができる



近年、急速に知名度が高まっている医療機器“InBody”。著名なアスリートも健康管理に使用しているというこの機器の販売元が、インボディ・ジャパンだ。同社は、健康産業の一翼を担う企業としてのプライドを大切にしており、社員教育にも力を入れている。

を測定できる。製品は主に、医療機関、プロスポーツチームやスポーツジム、介護・リハビリ施設で導入されている。

「人生100年」と言われるようになった今、医療費増大の問題から政府は率先して予防医療の重要性を説いている。こうした状況を背景に、インボディ・ジャパンは急成長を続けており、ここ3年で従業員が3倍強に、売上も2倍強に増えた。

急成長に伴う課題に
座学やチューター制を導入

「会社が急成長したことで課題と

なっているのが、社員の教育です」と話すのは、インボディ・ジャパン東京本社 経営管理部の柴田部長。そこで、入社後3ヶ月間は徹底的な教育期間と定めている。特に最初の1ヶ月間は完全な座学で、医療について幅広く学び、その後OJTに移っても専任の先輩社員が付いて細やかな指導を行うチューター制度を導入している。

「働きながら学ぶことには限界がありますから、最初の1ヶ月間は学ぶことに集中してもらいます」(柴田部長)

更に入社後1年から1年半を目安に受験できる社内資格制度を導入し、自主的な学びを促す。試験は、韓国の研

健康づくりを通して社会に貢献する
医療機器の販売会社

株式会社インボディ・ジャパン

3年間で従業員数が3倍に
売上も2倍に急速拡大

インボディ・ジャパンは、韓国に本社がある医療機器メーカーの日本法人だ。同社が販売する主な製品は、体成分分析装置“InBody”シリーズ。これは、身体に微弱な電気を流して得たインピーダンス(人体の水分の量によって変わる抵抗値)から体水分を測定し、そこから様々な体成分の情報を提供する機器だ。素足で専用の測定器に乗り、レバーを握れば、右腕、左腕、体幹、右脚、左脚の部位別に、体水分量、タンパク質量、ミネラル量、体脂肪量等

FSX 株式会社
会社概要



- 設立年：1976年12月
- 資本金：4,000万円
- 代表取締役社長：藤波 克之
- 従業員数：150名
(内、女性従業員 86名)
- 〒186-0012
東京都国立市泉 1-12-3
- TEL：042-576-9131
- http://www.fsx.co.jp
- 事業内容：
おしぼりのレンタル・販売及び企画
開発など



地域貢献活動の一環として、7月に開催されている「国立まど火」に協賛しています。まど火とは、国立市の姉妹都市である秋田県北秋田市で行われている、先祖の霊を迎え入れる伝統行事で、住民が古着などを固めて「ダンボ」と呼ばれる木綿の玉を作り、毎年お盆に川のほとりで燃やします。その伝統行事を国立市でも実施しようと、2015年7月に初めて行われたのが、国立まど火です。

国立まど火では、当社のおしぼり洗浄時に抜け落ちてできる繊維（リント）をダンボの材料にすることになり、玉状に成形して提供しました。

国立まど火が夏の風物詩になるように、活動を続けていきたいです。

(広報部 唐沢さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



使い捨ておしぼりの新形態として2018年5月に発表した「ポケットおしぼりスタンダードシリーズ」

で、とてもやりがいのある仕事です」

女性も若手も働きやすい
職場環境を構築

野口さんや今年新卒入社した総務部の櫻村さんのように、女性社員が多いのも同社の特徴。全従業員の約6割が女性という。そのため、産前産後休業制度や育児休業制度など、ライフスタイルの変化に応じた様々なサポート制度がある。産休・育休からの復帰率は100%だそうだ。

「女性だけではなく若手の社員も働きやすい職場だと思います。私にもいるいるな部署の先輩がフランクに話しかけ、指導して下さいますし、私のような若い社員の意見も聞いてくれ、プロジェクトに取り入れられることもよくあります」(櫻村さん)

職場環境を整えながら、おもてなし精神が詰まったおしぼり産業の更なる発展に向けてまい進し続けている。

画開発を行っているところです」(藤波社長)

例えば、東京工業大学と慶應義塾大学発のベンチャーと共同研究により開発された抗ウイルス・抗菌・除菌・防臭機能と安全性を兼ね備えたおしぼりブランド「VB® (VIRUS BLOCK)」を2011年に立ち上げ、タオルの販売を開始。医療機関や美容室、ホテルなどで採用されているという。

「販路開拓に向けたブランディングのためのプロジェクトも多数活動中です。若い社員にもどんどん仕事を任せて、積極的に参加してもらっています」(藤波社長)

営業部で働く入社3年目の野口さんは現在、ポケットおしぼりのブランディングプロジェクトに参加し、新しいカタログの制作に奔走中だ。「カタログをゼロから作るの大変ですが、同じチームの先輩や、部署を超えて広報の方も気に掛けてくださり、アドバイスをもらえるのでなんとか形になりつつあります。トレンドを自らの手で作れるの



「創業以来培ってきたおしぼり産業のノウハウを活かして海外で市場を構築するのが現在の我々のミッション」と語る藤波社長



「上司も先輩もフランクに話しかけてくれます」と話す、野口さん(左)と櫻村さん(右)



本社社屋の横の工場内にあるおしぼりの生産ライン



本社内に並ぶおしぼりと関連商品。左端の白と黒のおしぼり冷温庫「REION」は2018年度グッドデザイン賞を受賞



使い捨ておしぼりの新形態として2018年5月に発表した「ポケットおしぼりスタンダードシリーズ」



ブランド転換と環境整備を進め
古来のおしぼりサービスを海外へ展開

FSX株式会社

おしぼりのレンタルや資材の販売、製造・開発を手掛けるFSX。国立市に本社と工場、倉庫を構えるほか、アメリカ、ベトナム、香港に事業拠点を置いている。創業から50年で培ってきたおしぼりによるおもてなしサービスで、地域や国内に留まらず、海外への展開も目指している。

創業以来のレンタル事業を
フランチャイズ展開

JR南武線の谷保駅から南に歩いて約20分。中央自動車道の国立府中ICの近くにFSXの本社社屋と工場がある。1967年、「藤波タオルサービス」として創業し、飲食店を中心におしぼりのレンタルサービスを展開してきた。「おしぼり」というと、湿ったタオルが透明のビニール袋に丸まって入っているものを連想する人もいれば、湿った不織布が折り畳まれて包装されているものをイメージする人もい

「おしぼりは日本古来のおもてなし文化の一つですが、最近は使い捨ての不織布を使ったものが増えてきました。ただ、飲食店だけでなく、カーディーラーやハウスギャラリー、ホテルやIT企業などでも提供されるようになり、特に高級志向のあるところではタオル地のおしぼりが使われています」と、2013年に社長に就任した藤波さんは説明する。

2016年に創業50年を迎えたのを機に、現在のFSX (FUJINAMI SERVICE XPRESS) に社名変更した同社。東京を中心とする1都3県におしぼりのレンタルサービスを展開する

ほか、全国の同業30社にフランチャイズ展開をしている。また、自社独自の通販サイトを運営するなど、日本全国及び海外を対象におしぼりを販売している。

ブランディングに
若手社員も企画から参加

「外食産業での需要が減ってきて、レンタルの市場が縮小傾向になりつつあるのですが、おしぼりのニーズは依然としてあります。理容・美容業界や医療業界でもおしぼりが使われる。そうしたニーズに応えるべく、様々な企

有限会社小堀加工所
会社概要



- 設立年：1968年3月
- 資本金：300万円
- 代表取締役：小堀 泰克
- 従業員数：11名
(内、女性従業員10名)
- 〒124-0004
東京都葛飾区東堀切 3-12-1
- TEL：03-3603-2664
- <https://kobori-kakoujo.com>
- 事業内容：
シルクスクリーン印刷



シルクスクリーン印刷に、ホコリは禁物。印刷面に附着しては塗料が乗りませんし、化粧品容器などは衛生上の問題もあります。ですから作業中の服装にも気を遣います。モヘアのニットなど毛羽立つものはNG。でも女性の多い職場なので作業服はオジサンくさいと不評でした。

家から着て来ることができて、作業もできる服装はどんなものだろうと考えた末、ひらめいたのがポロシャツ。どうせなら、展示会に出展した時に誰かがスタッフか分かるようなコスチュームにしようと、オリジナルで作成しました。

左腕には弊社のロゴマーク、背中には弊社の取組が漫画化されたときの、私の似顔絵が印刷されています。

ちなみにオレンジは、弊社のラッキーカラーです。

(小堀社長)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



付加価値を生み出す力を持っているのです」(小堀社長)

技術の変化が激しい昨今だが、「この仕事が消えることはないと思う」と小堀社長。世の中が変わっても、モノが消えることはないからだ。むしろ事業の継続には、継承の重要性を感じる。技術者の高齢化により、廃業する同業者からの相談も増えているという。

「私たちの会社も、10年後はどうなっているか分からない部分はたくさんあります。でも今いるメンバーが技術を習得し、教えられるようになったら、次の世代を受け入れることもできるはず。根気のいる作業も多いですが、当社で印刷したパッケージが店頭に並ぶ姿もよく見かけます。手掛けたものが世に出る喜びを感じられる人なら、きっと活躍できると思います」(小堀社長)

町工場プライドが感じられる同社では、大量生産にはないやりがいがある。

ンピューターで録画する案が採用された。これまで口伝だったものが映像化され、経験の浅いメンバーでも作業できるようになり、生産性の向上につながったという。

ごみが思い出の品に
付加価値をもたらす技術

同社では、アーティストのライブ会場で配られるプラカップの印刷を手掛けることも多い。ビジュアル重視のエンターテインメント業界では印刷する絵柄が細かく、同社のように技術力の高いところでなければ対応できないためだ。人気のミュージシャンからアニメイベントまで、ジャンルは幅広い。

「無色透明なカップにロゴが入るだけで、ファンにとっては思い出の品になる。持ち帰る人も多く、ごみの減量や処分コストの削減につながっているそうです。シルクスクリーン印刷は、



大学卒業後は自動車部品メーカーに就職した小堀社長。創業者で先代の父の病気をきっかけに、若くして事業を継いだ



シルクスクリーン印刷が施された製品。継ぎ目のない仕上げや複数の色を用いた多色刷りができるのは、業界でもかなり限られるという



身に付けたスキルに応じてシールが貼られた名札。色や個数で業務内容や技能レベルを区別している

シルクスクリーン印刷の様子。一つひとつ手作業で行い、高度な技術を要するものにも対応している



高い技術と品質が商品に価値を吹き込む
町工場発、シルクスクリーン印刷

有限会社小堀加工所

プラスチックやガラス製品に絵柄や文字を印字する“シルクスクリーン印刷”を手掛ける小堀加工所。高度な技術と美しい仕上がりで、価格競争に左右されないポジションを確立している。職場環境改善や提案制度の導入など、従業員の声を活かした運営に力を入れる町工場だ。

「仕上がりにする自信があります」(小堀社長)

ものづくり業界の展示会などに出席すると、足を止めるメーカーも多い。失敗が許されない原価の高い商材や、化粧品など見た目の質感が売上げに影響するものなど、「他には頼めない」と相談が後を絶たないという。

従業員のアイデアを活かし
職場環境を改善

働きがいを大切にする制度改革や職場の環境改善にも力を入れる。担当するマネージャーの早坂さんは、入社6年

目。最初はパートからのスタートだった。

「家の近くで働ければという軽い気持ちでしたが、今は採用にシフト管理、備品の発注や見積もり作成に制度作りまで、全て任されています。こちらからの提案も聞き入れてもらえ、社内の雰囲気もより良くなりました」

スタッフの名札には身に付けた業務スキルに応じてシールを貼り、見える化した。更に待遇にも反映させることで意欲向上につながっている。また現場の意見が取り入れられた操作マニュアルや、職場改善のアイデアを募集する制度も早坂さんが提案。実際に、機械の操作方法をタブレット型コ

他社では真似できない
自慢の印刷クオリティ

葛飾区内の住宅地の一角に、小堀加工所はある。創業から50余年、シルクスクリーン印刷一本でやってきた。ガラスやプラスチック製品などに、文字や模様を載せる技術だ。複雑な形状でも美しく仕上げる技術力は、同社の自慢である。

「上面と底面で径の大きさが違うものは、筒状のものと違って塗料を均一に載せることが難しく、にじみや版ずれが起こりやすいのです。側面全体に印刷するものでも、継ぎ目が見えな

三立金型工業株式会社
会社概要

- 設立年：1970年1月
- 資本金：2,000万円
- 代表取締役会長：石田 保
- 従業員数：20名
(内、女性従業員10名)
- 〒146-0082
東京都大田区池上2-8-15
- TEL：03-3754-1901
- <http://www.sanritsu-kanagata.co.jp>
- 事業内容：
プラスチック射出成形、インテリア
サッシ・網戸の部品の成形及び組立、
女性用携帯トイレの製造販売



自社製品の女性用携帯トイレ「シーする〜ホット®」。社会貢献の色合いの強い製品だ

社会環境は変わっても
ものづくりの喜びは不変

大田区のものづくり企業は、20年前に比べて約1/3に減っているという。

製造の仕事自体が海外へ流出していることに加え、人材難による後継者不足や技術伝承の難しさが影響している。

同社では製造部の須田部長が品質管理の標準化（チェック表を作成、1時間ごとの抜き取りチェックのルール化など）に取り組んでおり、今後は伝承が難しい技術のマニュアル化にも力を入れるという。業務課の新井さんも「学べる技術があれば、他社からでも学びたい」と貪欲だ。

「昔とは社会の環境が変わってきていますが、考えたものを形にできる、作ったものが世界に広がり、使った人が笑顔になるという、ものづくりの喜びは変わりません」（石田社長）。

そうした気持ちに共感できるという人材と、これからの三立金型工業と一緒に作っていきたくて、笑顔で語ってくれた。

さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



二代目の石田社長。工場長と共に、古いものづくりのあり方を改革中



計量中の新井さん。重量によって個数だけでなく「欠け」などのチェックもしている



ランナー（軸）から、製品を外していく。作業は簡単だが、意外と作業者の個性が出るという

製造の他に、自社製品の開発・販売にも取り組んでいる。

「売上の比率からみれば自社製品は微々たるものですが、会長が使命感を持って作った製品ですので、わが社にとっては大切なものなのです」

石田社長がそう語る自社製品が、女性用携帯トイレ「シーする〜ホット®」だ。これは、2011年の東日本大震災

の時に、水や食料などの物資が不足したこともさることながら、女性用のトイレが不足し多くの方が苦しんでいるという報道を見た石田会長が、自社の技術を使ってなんとかできないかと思い開発した商品。座ったまま、人目を気にせず、繰り返し使用できるという特徴を持つ製品で、開発にあたっては女性従業員による開発チームを発足。約2年の開発期間を経てようやく製品化にこぎつけた。この製品に関しては一種の社会貢献という意味合いが強く、災害時に有意な製品として内閣府主管の一般社団法人防災安全協会より認定を受けている。

とも多そう。 「実はこの業界は、金型は金型、射出成形は射出成形を専業とする企業が多いのです。しかし当社は歴史的にまず金型を作り、その後に射出成形に移ったため、両方の技術とノウハウを持っています。そこがメーカーさんから信頼を得ているところであり、当社の強みでもあります」（石田会長）

自社製品を
使命感に駆られて開発

同社は、メーカーから受注する部品

大田区で、約半世紀に渡りプラスチック製品の製造に携わる三立金型工業。同社の製品はサッシや網戸の一部であり、国内はもとよりヨーロッパ、アジア、北米、中東、北アフリカなど世界中に流通している。

にインテリアサッシやロールスクリーンに使用される部品で、大手の住宅設備メーカーを通して三立金型工業の製品は世界中に流通している。多いものでは1種類で年間3,000万個も作る部品があるというから、気付かないうちに自社製品を目にしているというこ



創業者の石田会長。自社製品の開発では陣頭指揮をとり、今も販路開拓や人材の育成に取り組む

メーカーの部品から自社開発製品まで
使う人を笑顔にするものづくりの姿勢

三立金型工業株式会社

「型」から製品の製造へ
年に3,000万個作る製品も

三立金型工業は、石田会長がプラスチック用金型の製造を生業として約50年前に創業、現在はプラスチック射出成形（加熱したプラスチックを金型に射出し成形する製造法）を事業の核としている。同社の製品について分かりやすく言えば、最初はプラスチック製品を大量生産するために使う、溶かしたプラスチック材料を流し込む「型」を作っていた。それが、現在は型を使って作ったプラスチック製品を作るように変わったという。製品は主

株式会社城東特種自
会社概要

- 設立年：2004年7月
- 資本金：1,000万円
- 代表取締役：榎元 俊一
- 従業員数：17名
(内、女性従業員2名)
- 〒136-0082
東京都江東区新木場 3-4-4
- TEL：03-3522-7223
- http://www.jtj.co.jp
- 事業内容：
各種車両の車体製造、架装、板金、
塗装、修理の企画設計製造販売
各種自動車部品・用品の製造加工及
び販売



特種業務用車両は多種多様です。当社が得意なのは電気制御系の車で、高速道路でよく使われます。トンネルの崩落事故が問題として取り沙汰された後は、トンネルを走りながら中の亀裂の有無を調べる車も作りました。昔の検査可能速度は時速20kmでしたが、今は100kmで走っても検査可能です。マンパワーに限られる中で、全国から引っ張りだこの人気車です。

東日本大震災では、津波で店舗が壊滅的になった被災地へ駆けつけるため、コンビニエンスストアから「移動コンビニ車」を依頼されました。トラック側面の片側が開くと、コンビニの店舗そのものです。被災者に日用品を迅速に届けて喜ばれました。震災復興がひと段落した今は、過疎地で買い物難民の高齢者に商品を届ける車として活躍しています。(榎元社長)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



える社風です」

幼少時から工作好きで、車両を狙い通りに作れた時や、お客様から高評価を得た時の充実感は最高だ。後輩指導も行う井上部長は、「好奇心旺盛で、責任を持って真面目に取り組めるなら経験不問です。他社にない仕事をしたい人にはもってこいの会社ですよ」と話す。

工事や行政関連など、公共に資する仕事が多く、例年、年末と3月の年度末に仕事のピークを迎える。その分、春先は閑散期にあたり、その期間是有休ではなく公休扱いのまとまった休みをもらえる。

2018年に開催された上野公園の読書イベントで、自社で製造した出版社の読書推進キャラバンカーをわが子に初めて見せたという井上部長。

「今はまだ3歳ですが、もう少し大きくなったら反応が楽しみです」

社員一人ひとりの技術とアイデアで特種な車を製造する同社。今後も公共性の高い特種業務用車両の製造に誇りを持って取り組んでいく方針だ。

任される多能工化が進んでいる。

「新しく、難しい仕事に常に挑戦するには、二重三重に仕事ができなければ。現場で一人前になれば、設計図がなくても、自分のやり方で作れるようになります。早くて5年、通常は10年かかると言われますが、それも先輩が親身になって指導します」(榎元社長)

最高齢の社員は76歳。本人のやる気と技術があれば、働くのに年齢制限はない。ベテランから中堅への技の継承はほぼ完了した。

個々の力量が問われる現場
好奇心旺盛な人に最適

製造部の井上部長は「図面通りにいかないことが当たり前」と話す。正解がないだけに、想像力と創造力が試される。

「製造現場だからチームワークも大切ですが、一人で一貫して仕事を任されることもあります。私は誰にでも臆せず自分の意見をぶつけますが、若手でも年齢に関係なく意見を聞いてもら



「先輩の昔ながらのやり方も、若手の新しい挑戦も大切」と話す榎元社長



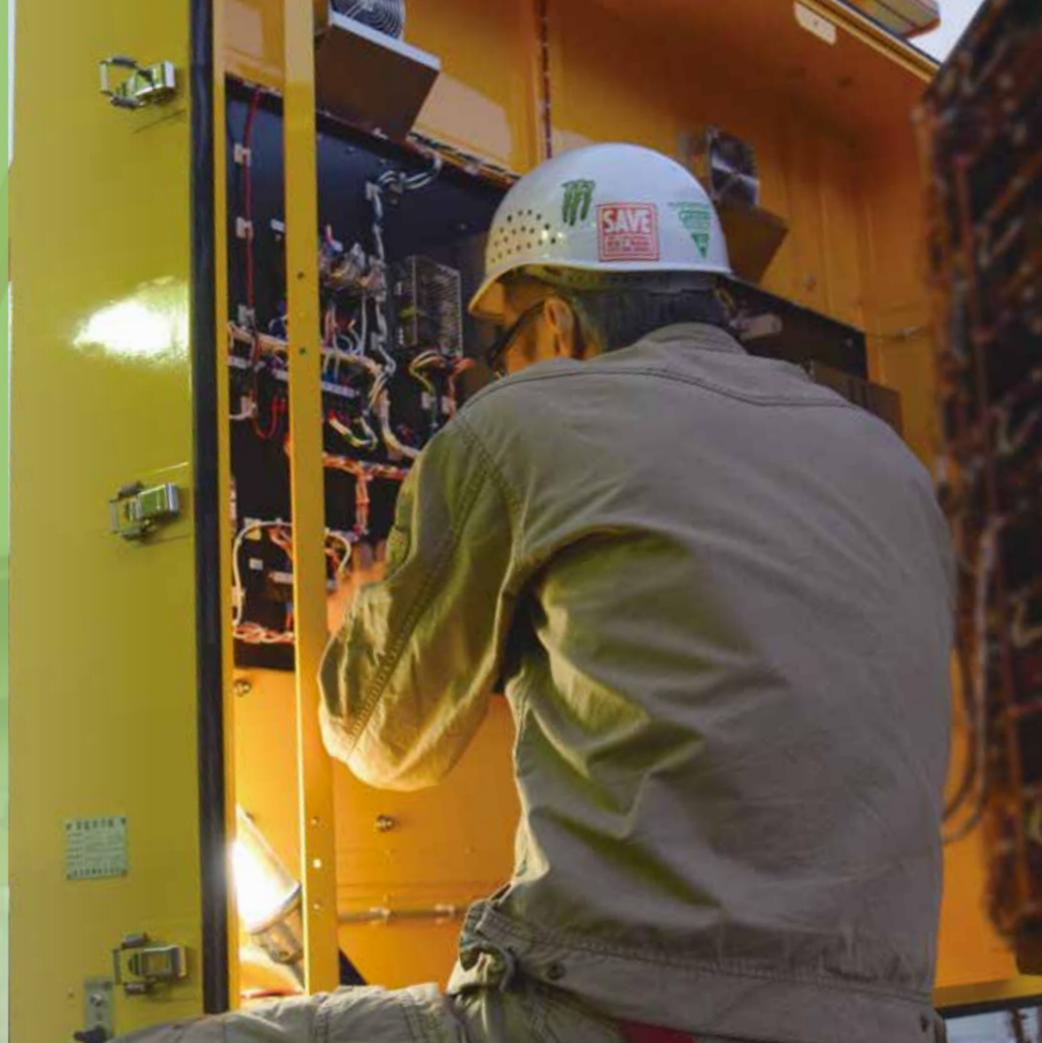
読書推進キャラバンカー。年間約300日全国に出張。かつての子が親になり、親子で利用する姿も見られる



三次元CADなど若手が得意な新しい技術も積極的に導入している



井上部長の仕事の支えは、「一品モノ」の車を作り上げる充実感や達成感



探究心と多能工化で独自技術を進化
特種業務専用車両を都内で唯一製造

株式会社城東特種自

清掃や工事、消防など、特種な業務に使われる自動車は、いつの時代も子どもたちに大人気だ。その車両を都内で唯一、車体から完成まで一貫製造する会社が城東特種自。少数精鋭の職場では一人何役も任せられ、一生モノの高い技術を身に付けることができる。

一念発起で創業
仕事がしやすい好立地

昔から建設資材の集積場として発展した新木場。今も場所によっては木材がほのかに香るその街角に、高速道路の作業車や清掃車など、鮮やかな色の特種業務専用車両がずらりと並ぶ。

榎元社長は以前、別の特種業務専用車の製造会社で営業部長を務めていた。

「日本初のキャンピングカーを作った会社です。高い技術を持つ職人がそろっていましたが、突然、建築など他部門との分社化で、車部門を廃止する方針を打ち出しました」

得意先の仕事や残された社員はどうするのか。そこで一念発起し、新会社を立ち上げた。

榎元社長は「この周辺は住宅がほとんどなく、企業ばかりなので、板金や溶接の音を気にすることなく作業ができます」と立地の良さを説明する。

高い技術で独自の仕事
板金から塗装まで何役も

創業当初は主に電力関係の工事車両を手掛けていた。東日本大震災を機に、現在は消防車・警察関係や道路公団の仕事も増えてきた。

「技術の下地があったから、経験のない難しい仕事にも挑戦してこられました」

消防車などは毎年、仕様が変わり、新しいものを一から作る面白さがある。

「それまでと同じ仕事では技術の停滞です。自動車メーカーにはない技術を我々が進化させて形にします。車種によってはロボットと同等の制御が求められるんです」(榎元社長)

高い技術で、全国でも同社にしか造れない車両があると榎元社長は語る。

現在、製造現場で働く社員は13名だが、「一人3役、50人分働きます」と言うように、同社では一人の社員が板金、溶接、塗装といくつもの仕事を

帝国インキ製造株式会社
会社概要

- 設立年：1895年10月
- 資本金：9,500万円
- 代表取締役社長：澤登 信成
- 従業員数：280名
(内、女性従業員95名)
- 〒116-0011
東京都荒川区西尾久 8-43-2
- TEL：03-3800-9911
- <http://www.teikokuink.com>
- 事業内容：
印刷用インキ（主として、工業製品に色彩を付与）の製造、販売及び印刷関連資機材の販売



社内行事が盛んです。近年のユニークなところでは、浅草の演芸ホールを貸し切って寄席を観ました。皆がなかなか一人では行けないようなところをピックアップして親交会が企画します。また、例年、一番熱いイベントは全社運動会です！当社の山梨工場と近隣の体育館で開催し、普段会えない、離れた事業所社員との交流の機会にもなっています。家族の参加も多いです。部門対抗で競うため、研究所チームには、「運動会必勝マニュアル」が代々受け継がれていると聞きましたよ。

(深尾次長)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



川原さん。入社年度の夏以降、仕事上必須といってよい最新の専門知識は、社外のセミナー等により得ているという。会社から外部研修を案内され、受講料も会社負担。同じく入社2年目、研究所研究員の新井さんも、つい先日、外部研修に参加したとのこと。更に、学んだことを社内で発表する機会も与えられ、受動的に「知る」だけでなく、プレゼン力も磨かれる仕組みがある。総務部の深尾次長は、同社の若手たちに、専門知識習得のためだけではなく、人脈づくりのためにも、学術団体等主催の研修への参加を奨励しているという。

「私達一人ひとりが豊かになるう」を理念に掲げる同社が最も大切にしているのは「人」だ。育児・介護休業の制度が浸透し、第二子・三子のために社員が取得した実績もあるとともに、有給休暇取得率も高い。お客様、仕事仲間、そして自分自身を大切にできる人材が、同社の安定成長の礎なのだろう。

た。そこで、これまでの評価制度を改革し、事実に基づく現実的で具体的な評価と育成の取組を始めたところです」(澤登社長)

新制度では、一人ひとりに求める役割の基準を明確にし、公正な評価をやりやすくした。各社員個別の計画に基づく評価と育成の制度となっており、上司からの日々の丁寧なフィードバックが特徴だ。「役割」と「成績」の2軸を明確にした評価と育成がどのような成果を生むか、楽しみにしているという。

個人を大切にする
理念に根差す教育制度

帝国インキ製造の新人研修は手厚い。「入社前には各部門長から会社のことや社会人としての基礎を習い、入社後は丁寧なOJTもありました」と、話してくれたのは、入社2年目、T3C SICMA で色や用途など、各顧客のオーダーに応じたインキづくりに取り組む



同期入社の新井さん(左)、川原さん(右)。メンター制度による、「相談しやすい」社風に助けられている



展示会では、様々な色調・機能を持つ最新印刷用インキの活用事例を紹介する



「お客様を、会社の仲間を、そして自分を、『人』を大切にする社員と共に伸びる会社でありたい」と語る澤登社長



「自ら意見を発信できる人材を育てたい。そのためにはまず、前提となる傾聴力を持って欲しいですね」と深尾次長



求める色は、日々の地道なトライアンドエラーの繰り返しによって完成する



手厚い仕組みで新人をサポート・育成
色彩という価値を国内外に提供

帝国インキ製造株式会社

スクリーン印刷インキを中心として、世の中に貢献する帝国インキ製造。同社が誇るのは「技術」だけではない。卓越した技術力の背景には、技術ノウハウの集積や充実した設備に加え、それらを有効に活用できる「人」と、そうした「人」を育てる会社の土壌があった。

最先端のインキ製造を支える
老舗メーカーのあくなき挑戦

スマートフォン端末の窓枠・背面、自動車のメーター、家電製品の操作パネル。マット、グラデーショ、メタリックなど、様々に施されたこれら製品の「色」に、どんな技術が用いられているかご存知だろうか。答えは「インキ」。工業用スクリーン印刷インキの技術が、最新の製品の美観と機能を生み出しているのだ。

創業120余年を数える帝国インキ製造は、新聞用インキを作る合資会社として出発。しかし現在では、紙以外へ

印刷するためのインキが製造のほとんどを占め、世界各国に出荷されている。様々な「色」があるのはもちろん、印刷面の自己修復機能を持つインキなど、機能面での進歩も著しい。日々、社員が一丸となって注力する研究開発と生産の賜物である。

「当社の主力商品はスクリーンインキ。これは、売ったらそれで終わり、とはならない商品なのです」と真剣な眼差しで語るのは澤登社長だ。

「製品は、誰かに喜んでもらうために製造するもの。とはいえ、当社の製品は印刷用インキで、『そのまま』では何にもなりません。私たちの仕事は、

お客様が、何のためにどのようなインキを求めているのかを伺い、ご提案すること。オーダーメイドでインキを製造する場合も多々ありますし、納品後も、お客様の製品への印刷がうまくいっているか、丁寧にフォローします」

現実に即した評価制度で
社員の成長をバックアップ

2018年5月より、新評価制度を導入した同社。

「以前の制度では能力に関する評価項目ばかりが増えて、実際の担当業務とのつながりが弱くなってしまいまし

株式会社ガジェログ
会社概要



- 設立年：2007年4月
- 資本金：500万円
- 代表取締役：松田 成正
- 従業員数：17名
(内、女性従業員8名)
- 〒105-0014
東京都港区芝 3-40-4
三田シティプラザ1階
- TEL：03-5765-7495
- <https://www.gadgelog.com>
- 事業内容：
ウェブデザイン、紙媒体のデザイン・DTP、システム開発



私が部長になって立ち上げたのが映画部。お気に入りの映画を持ち寄り、ミーティングスペースに集まって、定期的上映会を開催しています。

映画部は勤務時間後の活動のため、各自が飲み物やお菓子を持参し、リラックスした雰囲気です。仕事の疲れもとれ、気分転換になっています。

社員の映画の好みを知ることで、今まで気付かなかった意外な趣向などが垣間見られる点が、おもしろいところ。映画を通して、社員同士の親睦が深まるので、これからも継続して活動したいですね。

(企画営業部 渡邊部長)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



るため、顧客対応などの責任のある仕事も、1年目から経験を積むことができる。

入社1年目でアシスタントディレクターを務める齋藤さんは、「急スピードで新たな技術が開発されるウェブの世界に興味を持ち、ガジェログに就職を決めました。学生時代にウェブを学んだ経験はないのですが、何でも相談できるアットホームな雰囲気があるので、不安を感じることなく、仕事に臨んでいます」と語る。

顧客に対するデザイン力と提案力を武器に、成長を続けてきたガジェログ。更なる成長に向けて、松田代表は以下のように話す。

「お客様の多様な要望に対して、期待を超えるデザインやサービスを提供するためには、様々な能力の集合体でなければなりません。それぞれの社員の力が結集したときに、一人の力では成し得ない心に響くデザインが生み出せるのだと思います」

客ターゲットが固定されていないため、多様な案件に携われることだ。また、制作する媒体がウェブと紙の2パターンあるため、アプローチの幅が広い。デザイナーとして、ウェブデザインと紙媒体のデザインの2つのスキルを持つ尾崎さんは、「当社の魅力は、自分で手を挙げれば様々な案件にチャレンジできることです。ウェブと紙媒体の両方のスキルが活かせるため、挑戦できる仕事の幅が広い点にやりがいを感じています」と語る。

新入社員のバックアップが充実
マンツーマンのフォロー体制

新社員に対しては、年齢が近い先輩が教育係としてマンツーマンで付き、仕事に関する不明点や生活上の悩みなどを、いつでも気軽に相談できるようにしている。また、OJTでは経験豊富な社員が中心に新社員をフォロー。サポート体制が充実してい



「日常にあるデザインに関心を持つことで、“発想力”を磨いてほしい」と話す松田代表



お客様の想像を超えるために、細部にまでこだわったデザインを生み出していく



「お客様の信頼を得ることで、相談されるディレクターになりたい」と話す齋藤さん



「異なる意見を受け入れることで、デザインはブラッシュアップされていく」と話す尾崎さん



ミーティングスペースはカフェ風のくつろぎ空間



営業を置かないデザイン会社——そこがガジェログの特徴であり、面白さだ。営業力に頼らずとも、仕事に結び付けられるのは、他の追随を許さない確かな“デザイン力”“提案力”そして“人間力”を持ち合わせているからだ。

だろうか。その仕組みについて、松田代表は、「当社の仕事は、お客様からの相談を受け、そこから始まるケースが大半です。お客様が困っていることを解消することで信頼を得て、仕事へと結び付けてきました。ですから、社員に対しては、困ったときに相談される存在になってほしい、と繰り返し言っています」と説明する。

“相談される存在”という、「相手の要望を100%受け入れる」と思いがちだが、ガジェログでは捉え方が違う。その考え方が凝縮されているのが、「本気で考える、本気で発言する、すべてはお客様のために。」

という経営理念だ。松田代表は、クオリティを高めるためには、顧客に対して自分の意見も言うていく必要があるのだという。

「もちろん、お客様の要望に真摯に対応することは重要です。けれども、デザインのプロであるからには、その要望を踏まえた上で、更に上をいく提案ができなければなりません」

※ DeskTop Publishing、パソコン上で印刷前のデザインや制作工程を行うこと。

ウェブと紙媒体の両面で
デザイナーがチャレンジ

ガジェログのもう一つの特徴は、顧

本気で発言するプロのデザイン集団
考え抜いたからこそ、言えることがある

株式会社ガジェログ

仕事の基本であり原点は
相談される人間になること

ウェブデザイン、紙媒体のデザイン・DTP※、システム開発の3本柱で事業を展開するガジェログ。顧客層は幅広く、医療、広告、金融、証券など、様々な業種に向けてサービスを提供している。

部門はディレクター職とデザイナー職の2つに分かれ、ディレクターが顧客との交渉や進行管理を行い、デザイナーが制作物を生み出していく。ガジェログの最大の特徴は、営業職が存在しないところ。だが、営業を置かず、どのように仕事を受注しているの

株式会社コンセント
会社概要

- 設立年：1973年4月
- 資本金：2,000万円
- 代表取締役会長：上原 哲郎
- 従業員数：206名
(内、女性従業員133名)
- 〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南1-20-6
第21 荒井ビル
- TEL：03-5725-0115
- <https://www.concentinc.jp>
- 事業内容：
印刷情報媒体の企画・編集・制作、雑誌・
書籍の編集・デザイン、ウェブサイト
構築・設計・運営支援、インタラクティ
ブコンテンツ開発、デジタル教材開発、ユー
ザー体験デザイン・サービスデザインなど



「コンセントデザインスクール」は、デザイン会社の特徴を生かした研修制度です。2017年4月、社内の人材育成を目的に立ち上げ、毎週1回、年間で約40のプログラムを実施。社員が中心になって講師を務めるのが特徴です。社内にはノウハウや専門知識を持った社員が在籍しているため、プログラムはそのスキルに合わせて検討し、「デザインリサーチの設計」「撮影ディレクション」「デザイン会社の交渉術」などがこれまで採用されました。知識や技能が習得できることに加え、講師を務めた社員のプレゼン力の向上にもつながっています。講師には受講者から手書きのメッセージカードが贈呈され、普段は伝えにくい感謝や尊敬を交換する場にもなっています。
(コンセントデザインスクール責任者 石野さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



成果を確認しながら軌道修正していくのが同社の手法だ。その結果、導入されたのが、病児保育、休日出勤など緊急時の「ベビーシッター制度」や会社が長期休暇を設け、有給休暇の取得を促す「グループ休暇制度」。また、在宅で勤務できる「リモートワーク」の導入をトライアルしている。

ワーク・ライフバランスコンサルタントの民間資格を持ち、産前産後休業の取得後に復職したプロデューサーの橋本さんは「当社では産休取得後の復職率は100%。フォローし合える環境で働きやすさという理由で入社した女性社員もいます」と語る。

このように同社では様々な制度が有効活用されている。社員の働きやすさを追求し、ニーズに合わせて現場目線で改善を重ねた結果だという。

社外、社内を問わず、“問題提起・課題解決”に挑むコンセント。現状に留まらず、新たな価値の創造に向けて進化を続ける会社だ。



「独りよがりのデザインではなく、顧客に寄り添い、時代に合わせて“伴走するデザイン”が求められる」と話す大岡取締役



いつでも意見を出し合える環境がコンセントの強み



「たとえ興味は“ゼロ”であっても、その人の琴線に触れ、振り向かせるデザインを生み出したい」と話す佐々木さん



「仕事と育児」「オンとオフ」のバランスを取りながら働く橋本さん

ティーの高い新たな創造物が生み出せるのだという。

「感動を呼ぶデザインは、自分とは異なる価値観が融合することで生み出せるのだと思います。そのため当社には、年齢を問わず意見やアイデアをぶつけ合い、ブラッシュアップさせる環境があります。今でも忘れられないのは、『事業をけん引するトップの想いが従業員に十分に浸透していない』という顧客の課題に対して提案したデザイン。その会社の壁一面にトップメッセージを描き出したのです。想像を超えた発想にデザイン力が加わることで、圧倒的な力に変わり、人を魅了することを実感しました」

社員の要望に合わせて
働きやすさを追求

コンセントでは、社内における“問題提起・課題解決”にも積極的に取り組んでいる。社員の要望に合ったプラスになる制度であれば、まずは着手し、



「デザインで社会をひらき、デザイン自体の可能性もひらく」をミッションに、人や社会におけるデザインの役割を追求するコンセント。常に時代の先を見ることで、問題を提起し、人や企業、社会が抱える課題を解決するストーリーを紡ぎ出している。

『伝える』のではなく、情報の受け手に響く『伝わる』デザインが必要な時代です。『伝わる』へと導くためには、顧客の課題を深く掘り下げ、問題の本質を突き詰めなければなりません。その問題を解決に導くコンテンツを、デザインを用いて創造することで、『伝わる』情報が発信できるのです」

顧客と本気で議論を交わし、時代の一步先に行く「伝わる」デザインを用いて問題を提起し顧客を“課題解決”へと導く会社が、コンセントといえる。

社員の価値観を融合し
唯一無二の創造物に

「伝わる」デザインは、一朝一夕に生み出せるわけではない。コンセントでは、プロデューサー、アートディレクター、ウェブ・エディトリアルデザイナーなどがチームを組み、顧客とエンドユーザーに合わせた最適なデザインを作り出していく。顧客の課題を解決するデザインを届け続けるためには、社員一人ひとりの「個のアウトプット力」が高くなければならない。入社3年目の佐々木さんは、多様な価値観が混在する集団だからこそ、クオリ

多様な価値観が発想の源泉
”デザイン“で問題を提起し課題を解決

株式会社コンセント

デザインの訴求力を高め
「伝える」から「伝わる」へ

「きちんと伝えること」をビジネス化するコンセント。デザインの対象は幅広く、ウェブサイト、雑誌、広報ツールなどを顧客の課題に合わせて検討する。だが、情報にあふれた現代社会において、どのような手法を用いれば、「きちんと伝えること」が可能になるのだろうか。大岡取締役は“課題解決”というキーワードを挙げる。

「多くのメディアにあふれ、情報過多が叫ばれる今、企業が発信する情報には『質』が求められます。一方的に

株式会社 YAZ
会社概要

- 設立年：2004年6月
- 資本金：2,000万円
- 代表取締役 CEO：田中 康之
- 従業員数：60名
(内、女性従業員 14名)
- 〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 2-7-5
EDGE 渋谷 2丁目 4階
- TEL：03-6450-5570
- <https://www.yaz.co.jp>
- 事業内容：
システム開発構築及びウェブサービス企画開発



エンジニアは特に、意識してしないと運動不足になりがちです。とはいえ、1人では、運動を継続するのなかなか大変。そこで会社として、皆で活動する『部活動』を応援しています。毎月何かしらの部活が活動しています。その甲斐あってか、2018年には、健保組合から健康優良企業『銀の認定』をいただきました。
(田中代表)



私はフットサル同好会に参加しています。やったことのないスポーツでしたが、やってみると楽しく、また、普段接する機会の少ない先輩方とお話できるのもすごく嬉しいです。部活として認められるよう頑張って活動したいです。
(小塚さん)

さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



の研修や先輩のサポートによって習得してきたという。

「社長や先輩社員を見て、自分が働くイメージを明確に持てました。相談すればすぐに答えてくれるし、困っていれば声を掛けてくれます」(粕山さん)

また、外部のセミナー受講や、仕事に必要な技術書等の書籍の費用も会社が負担する。

「自分が読み終わったら会社に寄贈してくれればいい。迷って買わなかったことで、チャンスを逃してしまうなんて、本当にもったいないことですから」(田中代表)

スポーツ推進認定企業として 社員の健康維持に取り組む

同社は「東京都スポーツ推進認定企



「直接顔を見て話をすることにもとても意味があり、重きを置いています」と話す田中代表



「もっとスキルをあげて、お客様とより近い存在になりたい」と粕山さん



「先輩として入社してくる人たちは、自分が先輩にしてもらったような、親切的な接し方をしたいですね」と小塚さん



オフィス入口を彩る鮮やかな赤色。社内にもアクセントとして用いられ、温かみを添えている

ウェブサービスやスマートフォンアプリ等の開発、システム構築を手掛けるYAZ。同社は、顧客の課題にとことん付き合い解決する姿勢で成長してきた。社員たちが心身共に健やかに働きながら社会貢献することを目指す同社には、数々のユニークな取組があった。

という。「エンジニアであれば、スキルが身に付くのは当然のこととして」と田中代表は前置きし、こう語ってくれた。

「当社で手に入る最大のものは、一緒に働く仲間たちとの一体感。客先に常駐する社員が多いため、オフィスで顔を合わせる時間はどうしても少ないのですが、その溝を埋めるための投資は惜しみません。ランチミーティング『ヤジュ・ラウンジ』や、外部セミナー等で知り得た知識を社員が順に披露する『ライトニングトーク』は週に一度開催し、知識や士気を高めています。このほか、経営や生産性を考えるためのクイズ大会といった時間もあります」

プログラミング未経験者も 社内外の教育でサポート

同社にはプログラミング未経験で入社してくる社員もいる。そのため新人に対し、社会人・技術者としての知識やスキルを一から研修している。

「入社直後の4月から6月にかけては、ビジネスマナーや開発技術をみっちり教え込まれました」と話すのは、入社1年目、ITソリューション部の粕山さんと小塚さんだ。2人とも情報系の学科を卒業して就職したが、実際の仕事では、学校で学んだ以上の知識・技術が必要だった。それらは、社内外

最新技術はいち早く社内共有
楽しみながらスキルアップできる機会を提供

株式会社 YAZ

「仲間」と共に成長し 社会貢献する社員に

「YAZは、社会の変化に合わせて成長してきました」と語るのは、田中代表。

「エンジニアを始めとする社員たちにも、自分たちが成長することによって社会に役立つのだという意識を持ってほしいと思っています」

同社が得意とするのは、その時々で世に出始めたばかりの開発技術。ユーザーにとってより快適で便利な最新サービスを提供し続けている。だが「同社に入社することで得られるもの」を尋ねると、意外にも「技術力」ではな

ライトクルー株式会社
会社概要

- 設立年：2004年11月
- 資本金：2,000万円
- 代表取締役：阿部 洋吉
- 従業員数：38名
(内、女性従業員6名)
- 〒111-0034
東京都台東区雷門2-6-1
雷門ミハマビル8階
- TEL：03-6802-8318
- <http://www.lightcrew.co.jp>
- 事業内容：
システム設計・開発、インフラ設計・
構築・保守・運用



当社では、様々なイベントを行っています。春と秋に行われる社員総会では、全社員が集まって業績や会社方針の発表、新入社員紹介などを実施。また夏場には、浅草にある事務所から隅田川の花火大会が見えるので、社員の家族を招いて花火鑑賞を楽しんでいます。

更に、毎年11月には西の市に行き、商売繁盛を願って熊手を買います。自宅用に買って帰る社員も多いですね。社員旅行では温泉地に行くことが多く、2018年の11月にも草津に行きました。社員が有志を募って登山をしたり、マラソン大会に出場したりすることも。好きなことを通じて社員同士が集まれるのはいいですね。

(久保田専務)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



あることも同社の魅力の一つだ。

「多くの社員がほぼ残業なしで働いています。余裕を持ったスケジュールを組んでいるので、仕事量に無理がないことが一番の理由です」(久保田専務)

また、年間を通して行われる多数のイベントも特徴的だ。それぞれ異なる職場で働いているため、社員全員が集まることは少ないが、社員同士がコミュニケーションをとれる機会を会社が積極的に作っている。大原さんも、「入社前からフレンドリーな雰囲気を感じていましたが、実際に入社後も、社員同士の仲が良く、上司や先輩とも気兼ねなく接することができます」と話す。社員同士の結束力が高いためこそ、どんな職場でも活躍できるのだろう。

久保田専務はライトクルーの今後について、次のように語る。

「今後は自社における製品・サービス開発の比率を高めることを目指しています。そうしたビジネス展開を、会社全体の夢の実現、ひいては社員の将来につなげていきたいですね」

さんも、未経験で入社して活躍している社員の一人だ。

「業務に必要な知識は入社してから学びました。一人ひとりの適性や知識量に合わせて配属してもらえるので、不安がないですね」

また、1～2年目の社員を対象にした「目標管理制度」もある。これは、「業務」「コミュニケーション」「資格取得」の各テーマに沿った目標を立て、1年間を通して達成を目指すというもの。目標管理者となる先輩は、達成状況を月に一度、社内で任命された「スキル評価委員」に報告。委員や目標管理者が随時フィードバックをしてくれる。社員主催の勉強会も活発であるとともに、現場への配属後も外部研修を受ける機会があり、技術を磨ける環境が整っている。

社員同士の交流が深まる
社内イベントも充実

残業時間が短く、働きやすい環境が



「職場は様々でも、ライトクルーの一員であることを常に意識してほしい」と語る久保田専務



フィールドSE、プログラミング、開発、サポートなど幅広い業務を担う今野さん



お客様先でサーバー管理を行う大原さん。問い合わせにスムーズに答えられると嬉しいと話



豪華な熊手が飾られている神棚。西の市に社員皆で行くのは浅草の企業ならではの



隅田川花火大会を皆で観賞。イベントは任意参加だが、出席率が高いのは仲の良さあってこそ



社員一人ひとりの成長を促す環境が
働きやすくフレンドリーな職場を作る

ライトクルー株式会社

大手メーカーやソフトウェア会社のシステム開発や設計を行うライトクルー。社員は技術派遣として異なる職場で働いているが、社員間のコミュニケーションは活発だ。生き生きと働く社員の成長が、同社の高い技術力を支えている。

技術の向上で社会貢献
社員も社会も幸せにする

企業から依頼を受けて技術提供を行うライトクルー。お客様の職場に向かうほか、社内でシステム開発も行うなど、様々な要望に応えている。例えば、日本舞踊の師匠から「手書きで作っている踊り譜*をデジタル化できないか」と相談を受けて開発した「踊り譜」というユニークな自社ソフトもその一つだ。久保田専務は同社の技術について、次のように語る。

「当社の理念は『技術による永遠の社会貢献』。技術の向上を大事にしな

がら、世の中に貢献できるものの創出を目指しています。もちろん社員も社会の一員。社会貢献という言葉には、『社員を幸せにする』という思いも込められています」

日々技術を磨き、お客様先に派遣を行う会社だが、同社の社員が一人で出向することはなく、必ず2人以上のチームで配属される。入社7年目でテクニカルマネージャーを務める今野さんは、配属先での経験を次のように話す。

「お客様との距離が近く、『ありがとう』『助かったよ』と声を掛けていただけなのが嬉しいですね。同じ職場に配属された先輩がお客様との橋渡しを

してくれたので、職場にもスムーズになじめました。現在は自分が先輩にもらったように、後輩とお客様の橋渡しをしています」

※ 身振り手振りを棒人間で表したもの。楽譜の踊り版。

若手の年間目標を
丁寧にフィードバック

新入社員はまず、社内研修で社会人としてのマインドやビジネスマナーを学ぶ。その後は外部のITスクールに約4カ月間通い、専門的な知識を身に付けてから現場に配属される。入社4年目、システム本部第一技術部の大原

金澤建設株式会社
会社概要

- 設立年：1963年1月
- 資本金：3,500万円
- 代表取締役社長：金澤 貴史
- 従業員数：44名
(内、女性従業員27名)
- 〒184-0011
東京都小金井市東町4-16-26
- TEL：042-381-3158
- http://www.kanakk.com
- 事業内容：
総合建設業



当社は、2015年から新規事業として洋菓子店を運営しています。建設会社がスイーツという皆さん困惑されるのですが、Build (建設) + Dulce (スペイン語で“甘い”) でビルドルセという店を運営しています。実は2014年に、地元で27年続いた洋菓子の名店が閉店するのを知り、「あまりにももったいない。地元の名物をなんとかして引き継がないか」という思いだけで突っ走りました(笑)。洋菓子のことなど全く分からない状態だったのですが、幸いにも多くの人の助けを得て、地元の味を守ることができました。今では店舗での雇用も増えており、少しでも地域に貢献できているのかなと思っています。

(金澤社長)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



のはとても嬉しいですよ」と話す。

社内外で飛び交う感謝の言葉が、社員同士はもちろんのこと、同社と顧客、同社と地元の絆を深めているようだ。

地元になくても困ると
言われる会社を目指す

金澤建設は、創業100年という未来に向かって変革の途中にあるという。2015年からは新規事業も始め(右記の「もっと知りたい」を参照)、そこで新たな雇用を創出。地域に貢献しながら、他社にはない独自色を強めていく方針だ。

「会社の規模を大きくしたいわけではないのです。ただ、“小金井にはやっぱり金澤建設がなくちゃ困る”とだけ言われる会社、地域のお役に立てる会社になりたい」と言う金澤社長。最後まで、地元への想いを語ってくれた。

はありません。では、当社の武器はなんだろうかと考えた時に、徹底的に地元尽くすこと、そして一緒に仕事をして気持ちの良い会社だと思われること、これしかないと思うんです(金澤社長)

総務部で入社3年目の富澤さんは「私は転職をしてきたので、当社の特徴が良く分かります」と言う。

「社長を始め、上司や同僚の方々、ちょっとしたことで必ず“ありがとう”と言ってくれます。総務のようないわば裏方の仕事をしていると、そうした一言がとても嬉しいです」

建築部に所属し、入社4年目になる鈴木さんも「社内でありがとうと言われることも嬉しいですが、私はお客様にありがとうと言ってもらえることがやりがいですね。建築には時間がかかるので、建物が完成した時には感激しますし、頑張ったことが形として残る



感謝の気持ち一つにしても、当たり前のことを当たり前に行きたいという金澤社長



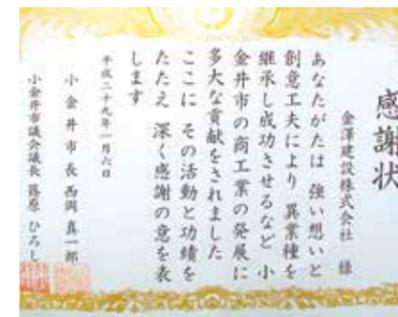
「社長や上司との距離が近く、何でも相談に乗ってもらえます」と話す鈴木さん



富澤さんも「気さくな方が多く、働きやすい環境です」と話す



建築現場の様子。地元へ愛され、地域に貢献する建設会社として成長を続けている



地元の発展に貢献し、市長から授与された感謝状



小金井で創業して70年超
地元への愛情が深い総合建設会社

金澤建設株式会社

“ゼネコン(建築・土木工事を請け負う総合建設業)”という、名前が知られた大手のゼネコンを想像しがちだが、日本各地には地域密着型の中小ゼネコンが多く存在する。金澤建設は小金井市に拠点を置き、様々な事業を通して地域の活性化に取り組んでいる。

24時間体制で待機し
災害時の道路を守る

「創業以来、土木建設を中心に事業を展開してきましたが、2000年より建築工場の請負を開始し、総合建設会社となりました」と語る金澤社長。金澤建設は、1945年に創業者の金澤亨氏が小金井の地で創業して以来、地元へ根を下ろして経営を続けている。2015年には、創業70周年を迎えた。

金澤建設を語る上で欠かせないキーワードが、地域貢献だ。同社は東京都、小金井市と道路啓開作業協定、雪害対策協定を結んでいる。これらは簡単に

いうと、事故、災害、豪雪などにより道路が使えなくなった時に、同社が復旧作業にあたるという自治体との契約だ。金澤社長は「万が一、何かがあった時には我々が出動します。24時間、365日、いつでも出動できる体制を整えておかなければなりません」と言う。そのため、通常リースで済ませる会社が多いパワーショベルやローラーを、いざという時のことを考えて購入し、更に専用の資材置き場も確保。不測の事態が起こった時には、社員は真夜中であろうと駆けつける体制だ。このような取組を行う企業は現在、非常に少なくなっており、小金井市でも2

社ほどしかないという。「決して楽なことではないのですが、これも長年当社を支えてくれている地域への感謝の取組ですね(金澤社長)」

やりがいにつながる
ありがとうの一言

金澤建設を語る上でのもう一つのキーワードが感謝だ。

金澤建設の社内では、頻りに「ありがとう」という言葉が聞こえてくる。もちろん、意識的に行っていることだ。

「超大手のゼネコンなどと違い、我々には当社にしかできない独自技術など

木本建興株式会社
会社概要

- 設立年：1977年7月
- 資本金：3,000万円
- 代表取締役：平田 江一
- 従業員数：20名
(内、女性従業員3名)
- 〒192-0375
東京都八王子市鎌水 1045-1
(多摩支店)
TEL：042-707-0147
- http://www.kimoto-k.co.jp
- 事業内容：
総合建設業



大雪などの災害時には、当社の機材とマンパワーを活用して、積極的に復旧作業に当たっています。2018年の記録的な大雪においても除雪作業を行いました。これについて、国土交通省からの表彰も受けました。地域に密着し、多くのインフラ工事を手掛けてきた当社だからこそできる社会貢献を、今後も行っていきたいと考えています。
(平田取締役)



〈国土交通省からの感謝状〉

さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



ことがテレワークの良さ」だと、口を揃える。

木本建興では、現場社員は原則「直行直帰」。月に2回の「帰社日」を除いては、出社が義務付けられておらず、自宅から直接工事現場に出向き、終業後はそのまま帰宅。出退勤の報告もネットワークを通じて行う。社外から社内サーバーにアクセス可能であるため、現場仕事の合間にも社内の資料の閲覧や作成ができ、終業後も帰社する必要がない。

「個々の社員が持つ良い意見や思いを取り入れられるよう、当社では面談時などに、一人ひとりに直接意見を聞いて、会社制度に柔軟に反映させています」と平田取締役。2018年には育児休業から復帰し、現在短時間勤務制度を活用して働いている女性社員もいる。

それぞれの社員が快適に働くための木本建興の「改革」は、今後も続いていく。

同じように、異なる分野から入社し、2年目となる営業部の宮澤さんも、会社のサポートを受けながら必要な知識を習得しているという。今では入札情報の取得から見積りの作成、契約後のフォローまでを自力で行えるようになった。

現場社員の声に柔軟に応え
働き方改革は現在も進行中

以前は残業が多かったという木本建興。その状況に問題意識を抱き、現場社員の声を直接聞きながら、柔軟に改善してきた。残業の原因の多くは現場仕事ではなく事務作業にあったことから、事務の効率化を図った。各現場社員に専属の事務スタッフを配置、更には、会社以外の場所でも仕事を可能にするテレワークシステムを導入。工事部の伊藤さんをはじめ入社1年目の社員たちは、「事務作業のために現場と会社を移動する時間をカットできる



「便利なものや社員が『良い』と言うことはどんどん取り入れたい」と話す平田取締役



整頓されたオフィスはとても快適。半円形のデスクも印象的だ



現場事務所でテレワークを実行中の伊藤さん



異業種から木本建興に入社した細野さん(左)、宮澤さん(右)。研修制度でスキルアップ中だ



小・中学校の改修工事から大規模な道路や下水道の施工まで、多様な公共工事を手掛けている



テレワークで現場社員の負担を軽減
充実の研修で「人」を育て社会貢献

木本建興株式会社

木本建興は、上下水道や道路など、東京都の公共工事を主に行う総合建設会社。以前は残業の多さが課題だったが、社員の意見を柔軟に取り入れ、テレワークなどの仕組みを整備、改善を実現。働く人たちの声をダイレクトに受け止めながら、いっそう働きやすい企業を目指す。

公共工事を通じて
社会のためになる仕事を

1977年創業、50年以上にわたり東京都の公共工事を手掛けてきた木本建興は、手広く建設工事を請け負い、中でも道路建設や上下水道工事といった公共設備（インフラ）を得意としている。そんな同社の理念は「社会のためになる仕事をする事」だと、平田取締役は話す。

「仕事をしていて、迷う瞬間は誰にでもあると思います。そのような時にも『社会のためになるかどうか』を考えるとという軸があれば、適切な判断が

できるはず。当社社長も、仕事を通じて社会に貢献したいとの意識を強く持っています」

手厚い研修制度で
社員の成長をサポート

「人」を大切にする木本建興は、社員研修に力を入れる。OJTをはじめ社内研修もよく行われるが、社外でのセミナーや講座の受講に関しても会社が手厚くサポートをする。現場社員に限らず全社員が対象で、外部研修の受講費用は会社が負担。外部研修には、仕事をする上で必要となる資格取得の

ための講座はもちろん、工程管理を学べる研修などもある。体系的に知識を習得でき、日常行っている業務の意味も再確認できると好評だ。

入社2年目、営業部の細野さんは、「異業種から同社に入社しましたが、研修制度のおかげで、以前から興味があった仕事ができている」と話す。「会社から『こんな講座の案内が来ているから、受けてみたら』と勧められる場合もありますし、自分から希望を出すこともできます。業務上必要となる資格の取得などに加えて、自分なりのキャリアプランを描けるので、やりがいがあります」

株式会社ジョスコム
会社概要

- 設立年：1971年3月
- 資本金：1億円
- 代表取締役：川上 一三
- 従業員数：34名
(内、女性従業員4名)
- 〒156-0055
東京都世田谷区船橋 6-5-19
- TEL：03-3304-1011
- http://www.joscom.jp
- 事業内容：
マンション・ビルの大規模修繕



現場での作業がメインのため、社内行事や社員が集まる機会を大事にしています。月に1回、現場の社員を集めて会議を行っています。その際に誕生日会を開くこともあります。また2年に1回、海外への社員旅行を開催していて、次回は2019年1月にベトナムのダナンに行く予定です。

その他、毎年仕事始めの日に初詣に行って安全祈願をしたり、勤続10年や20年などの節目の社員に食事会を開いたり金一封を贈呈したりして、社員同士の交流を深めています。

(川上代表)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



し、資格取得手当も出します。一級建築施工管理技士を取得した人もいます」(川上代表)

きっちり工事をし 発注者と信頼関係構築

同社が主に手掛けるマンションやビルの修繕工事は基本的に日中に行われる。

「マンションの場合は住民の生活がありますし、ビルの場合は人がいなくなるため、夜間や休日の工事はほとんどありません。現場の仕事も日没とともに終了になることが多いです」と川上代表は言う。そのため残業は少なく、休日も十分取れる。

「工事が終わると、マンションの管理組合などから感謝状を頂いたり、次の仕事の話になったりします。その時にやりがいを感じますね」と黒田さんは言う。

目立つ色にして全員に緊張感と責任感を意識させることが狙いという赤い作業着を着用した職人たちが施工する。感謝状や次の受注は彼らへの信頼の表れだ。

「中途採用で入った人も全員、修繕や防水工事とは違った仕事をしてきた人たちです。現場でのOJTで学んできた先輩たちが新たに入った後輩たちにOJTをするという流れです」(川上代表)

実際、工事に所属し現場監督として働く6年目の黒田さんは以前、土木関係の仕事をしていましたが、修繕や防水の仕事に携わったことがなかったという。

「先輩方が工事に必要なスキルを一から親身に教えていただきました。不明な点を質問したり相談したりする時も、社長や先輩方が気軽に応じてくれます。働きやすく学びやすい会社だと思います」

総務部で働く3年目の中川さんも「社長を始め社員全員が、組織でありつつも家族のように接することができて、とても和やかな雰囲気ですね」と話す。雰囲気の良さが社員一人ひとりの働く力やスキルの向上にも結び付いているのだろう。

「国家資格の取得などで学校に通う必要があれば、その費用は会社が負担



「採用時に経験は問いません。元気が良く、協調性のある人に来てほしい」と話す川上代表



「ゆくゆくは建築業会計士の資格取得も目指したい」と言う中川さん



社内に飾られている感謝状の数々。マンションの管理組合からのものや、東京都からのものもある



ビル屋上の防水工事を行う職人。社内でも現場でも赤い作業着を着用する



川上代表と話す黒田さん(右)。黒田さんも一級建築施工管理技士の取得を目指す期待の人材だ



ゼロから着実にスキルを積み上げ 修繕を一手に請け負う赤い職人たち

株式会社ジョスコム

事業者としては珍しく、赤い作業着が特徴的なジョスコム。マンションやビルの大規模な修繕工事を主として、企画・提案から施工まで全て請け負う。同社が目指すのは「赤い匠のプライド集団」。多能工として現場で活躍できるとともに、働きやすい環境づくりにも力を入れている。

創業以来 40 年以上 修繕・防水を自社で施工

1971年3月、内装リフォーム業と防水工事業の「城南工務店」として設立。現在の商号「ジョスコム」は、「JONAN SYSTEM COMPLETE」を略したものだ。

「防水工事や修繕・リフォームから始まった会社です。一時期は建物の新築工事の一部も受注していましたが、工事の全てを請け負う修繕とは訳が違います。これまでメインでやってきた修繕工事に絞ることにして、今日に至っています」と川上代表は話す。

同社が現在主に手掛けるのはマン

ションやビルなどの外壁や屋上の修繕工事。建物の管理組合から直接受注して行うものと、大手建設会社の下請けとして実施するものが多く、時折官公庁の公共工事にも関わっている。

「営業職として働いているのは1人だけ。他に事務職が数人いますが、あとは現場の監督と職人たちです。現場での工事が一つ終わると、次の仕事が舞い込んでくることが多いので、営業職は増やさず、現場で働く人材の育成に力を入れています」(川上代表)

スキルは全員ゼロから習得 OJTと外部の研修機関を併用

「現場で働く職人には塗装、修繕、防水などを行える多能工として活動してもらっています」と川上代表は言う。例えば防水工事だけでも、屋上や外壁、地下など、行う場所によって様々な工法があるという。こうした多種多様な工事のスキルを、現場での作業を通じて、監督や先輩職人に指導してもらいながら学んでいく。

また特筆すべきは、現在職人として働く社員は皆、同社で一からスキルを学んだという点だ。

株式会社マサル
会社概要

- 設立年：1957年9月
- 資本金：8億8,569万円
- 代表取締役社長：荻谷 純
- 従業員数：118名
(内、女性従業員21名)
- 〒135-8432
東京都江東区佐賀1-9-14
- TEL：03-3643-5859
- http://www.masaru-co.jp
- 事業内容：
シーリング防水工事、ウレタン塗膜
防水、改修工事全般



冒険部とマサルランズの2つの社内サークルが、合同でバーベキュー大会を開催しました。冒険部の主な活動は、都内近郊の山を中心としたトレッキング。冒険部の名に負けないように、いつかは壮大な冒険にチャレンジすることを夢見て活動しています。マサルランズはジョギングの愛好仲間が集まり、体力づくりも兼ねて、定期的に走ることを楽しんでいます。

どちらのサークルも家族での参加も大歓迎なので、家族同士の交流の場にもなっています。サークル活動は、会社では知ることのできないプライベートの部分が発見できるため、社員同士の距離を縮めるのにも役立っています。(第3営業部 家子主任)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



な労働環境を想像する人も多いだろう。都内のプロジェクトで現場を体験した入社1年目、営業部の白浜さんは、実情をこう語る。

「女性の人数が建設現場で少ない状況であることは、昔も今も変わりありません。けれども、女性が働きやすい職場環境に向け、更衣室やトイレなどに配慮する現場も増えてきています。女性が少数派である現場では、女性独自の視点が貴重な場面も多いのです」

「女性の皆さん、一緒に建築現場で働きませんか」と、白浜さんは笑顔をこぼした。

建造物を守るため技術とノウハウを磨き続けるマサル。世界有数の多雨国、地震大国の日本にとって、建物の耐久性を高める技術は今まで以上に求められていくだろう。

を集約させ、建設が進んでいきます。シーリング防水もその専門技術の一つのため、専門家の観点から、防水性や安全性を高める工法などを提案できなければなりません。早く知識や技能を身に付け、一人前として認められるようになりたいです」と力を込める。

同社では、シーリングの知識や技能を継承していくことなどを目的に、技術本部を設置。技術本部に集約された建築現場のノウハウをもとに、実践的な教育プログラムを構築することで、若い世代へ知識や技能を引き継ぐ仕組みを整えている。

女性が働きやすい職場に向け
建築現場も女性の視点で変化

建築現場というと、男性社会の過酷



「建築現場では、周りとの協働しつつ、自分で考え、行動できる人材が求められる」と話す勝又取締役



2018年に本社ビルを江東区佐賀に新築。更なる成長へ



「働きやすいアットホームな社風が、当社の特徴であり強み」と話す白浜さん(左)と高見さん(右)



現場には、生き生きと働き、活躍している女性の姿も



風雨から建物を守るシーリング技術
ビル建築を支える防水のスペシャリスト

株式会社マサル

「永く、愛される建物」の建設を目指し、総合防水事業、シーリング事業、リニューアル事業の3つの分野を中心に事業を展開するマサル。ビルの耐久性を高めるために、マサルが持つシーリング防水の技術は欠かせない。

自分の手掛けたビルが
カタチとして残る誇り

1957年の創業以来、シーリング防水事業を柱に首都圏の超高層ビルや大規模建設プロジェクトを数多く手掛けるマサル。先進のシーリング技術の評価は高く、都内の約7割の超高層ビルの施工を担当している。

シーリング防水とは、外壁の水密性・気密性を保持し、建物を保全する役割を担うもの。一般人の目には留まりにくい、建設には欠くことのできない技術だ。勝又取締役は、歴史に名が残る建造物にも関われる点が、社員のモ

チベーションにつながっていると言う。

「1968年、当社は日本初の超高層ビル『三井霞が関ビル』の施工を皮切りに、名だたる大型ビルや施設などで実績を残してきました。近年では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、新たに建築するオリンピック施設のシーリング防水も担当しています。シーリングの仕事の魅力は、自分の携わった建造物が世の中に残ること。手掛けた建造物の前を通った時は、『これは私が作ったビルなんだ』と、誇らしげに外壁を見上げる社員も多いですよ」

また、1979年からはリニューアル

事業を展開し、オフィスビルや文化遺産建造物、集合住宅などの改修業務も事業の柱の一つに加わっている。

蓄積したノウハウを集約し
教育プログラムを構築

地震や風雨などの自然環境から建造物を守るために、設計段階から技術提案を行う点もマサルの特徴だ。シーリング防水は壁全体の耐久性に影響するため、設計者、建築会社、外装メーカーなどの調整が必要になる。

入社1年目、営業部の高見さんは、「建築現場では、工程ごとに専門技術

株式会社インフォレント
会社概要

- 設立年：1988年12月
- 資本金：4,000万円
- 代表取締役：工藤 修
- 従業員数：25名
(内、女性従業員9名)
- 〒111-0053
東京都台東区浅草橋 5-3-2
秋葉原スクエアビル
- TEL：03-5822-4800
- <http://www.inforent.org>
- 事業内容：
レンタルスタジオ・イベントホール・
ライブハウス・音楽家向けサブリース、内装工事



インフォレントの本社には、防音室があります。そこではちょっとしたレッスンもできるのですが、大抵は社員が集中して考え事をしたり、逆にリラックスして休憩したり仮眠するのに使っていることが多いですね。僕の場合はもともとギター教室をやりたいくてインフォレントに問い合わせたのが入社の一きっかけになったくらいギターが好きなので、休憩中に防音室でギターを弾くことでリフレッシュしています。好きな音楽を、周りを気にせず演奏できるのは、やっぱり良いですよ。僕はギター専門ですが、時々、歌も歌っていることは内緒です(笑)。
(伊藤さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



スタジオやライブハウスの運営だけでなく、設計や施工、管理、更にはイベントや教室のサポートまで幅広く手掛ける



業務は多岐にわたり、試行錯誤する場面も多いが、その分、やりがいもあると言う鳴川さん



スタジオ事業部の伊藤さん(左)と田口さん(右)



月初めに行われる全社研修。関連会社の社員も参加する

イメージをしっかりと伝えることを大切にしている。

どうやるかも含めて自分達で考えて試行錯誤してきました」と話す。

「何を」「どうやるか」を
業務の中で自ら考え実践

こうした文面を考えるのは、社員の仕事だ。文面を考え、SNSを使って工藤社長に添削してもらい、それをウェブやパンフレット、カタログに掲載する。社員の仕事はもちろん、それだけではない。1人の社員が4〜5スタジオを担当し、そのスタジオ運営に必要な作業は全て行う。どの先生がどのスタジオの何をを使い、月々の収支管理、スタジオの広告宣伝、ウェブのアクセス数管理、PV(ページビュー/Webのページ毎の閲覧数)の管理、機材からトイレまで施設のメンテナンスなど、その業務は多岐にわたる。

入社12年目、スタジオ事業部の鳴川さんも、「本当に、何でもやります(笑)。しかも、何をやるかだけではなく、

社員の仕事は「経営」
経営者を育てる全社研修

何でもできる人材を育成するために、同社では月に1回、全社研修を行っている。取材当日に行われていた研修は「アプリを使った、スタジオの間取り紹介動画の作り方」についてだった。動画一つで教室の先生方の集客をサポートできるとあって、参加者は全員熱心に耳を傾けていた。

「結局、私が社員にやってもらいたい仕事は『経営』なんです。一人ひとりがスタジオの経営者になれるように、お金の計算の仕方から広告宣伝、そしてスタジオの作り方で、全て学んでほしいと思っています」(工藤社長)

事業の一部だけでなく、経営まで学べるのが中小企業の魅力だ、と工藤社長は笑顔を見せていた。

インフォレントは、音楽・演劇・ダンスなど芸術で世の中を明るく、楽しくする人を応援する企業。レンタル・スタジオやライブハウスの運営、防音物件の賃貸仲介や借り上げ、防音工事といった事業を行い、社員には「スタジオの経営者」になるための教育を施している。

スタジオ貸しを軸に
教室運営の支援まで

インフォレントの主な事業は、音楽教室やダンス教室の先生に防音スタジオを長期的・定期的に貸し出すスタジオの運営だ。例えば、Aというスタジオを、月曜の午前は〇〇先生、午後は△△先生、夕方は□□先生にそれぞれ貸し出し、空き時間がないよう効率的なスタジオ運営を行う。都内約50か所のスタジオ運営に加え、新たなスタジオの企画、設計、施工や、防音マンションの借上管理、仲介、買取、イベントの企画運営なども行う。

インフォレントの事業の特徴は、ただスタジオを貸し出すだけでなく、スタジオを借りる先生方の教室運営までサポートする点だ。

工藤社長は「先生方の中には、芸術的な才能を持っていても、ビジネス的な感覚が弱いという方もいらっしゃいます。そうした方をいかにサポートするかも、私たちの仕事なんです」と述べる。

そのためインフォレントのPR文は非常に具体的だ。例えばキッズ向けダンス教室としてスタジオを貸し出した場合、「スタジオを2時間半借りれば45分のバレエクラスを3回転でき、1クラス10名、延べ30名の教

室を実施できます。月4回のレッスンで、月謝を7,000円とすると、売上げは21万円になります。貸しスタジオの原価は3万円前後。生徒を60名集め、レッスンを週2回にすれば、月収約38万円が達成できます」といった具合に、実際に教室を運営した時の



取材の合間にピアノの演奏を披露する工藤社長

スタジオ運営に新たな風を吹き込む
サポート体制と人材育成

株式会社インフォレント

エビヌマ株式会社
会社概要

- 設立年：1974年3月
- 資本金：1,000万円
- 代表取締役社長：海老沼 優文
- 従業員数：22名
(内、女性従業員11名)
- 〒124-0004
東京都葛飾区東堀切 2-16-2
- TEL：03-3690-1181
- <http://www.ebinuma.co.jp>
- 事業内容：
文具事務用品販売



毎年1月・5月・10月と、年3回のゴルフコンペを主催しています。もう30年以上続いており、今年の10月で第105回を迎えました。当社の従業員有志のほか、お得意様、仕先にも参加していただき、更に最近では近所のゴルフ好きの方々までお誘いしています。地域とのつながりを大切にする企業ですから。

会社の近くにゴルフ練習場があるので、仕事の後に立ち寄りリフレッシュする従業員もいます。文具が所狭しと並んだ倉庫の片隅にゴルフバッグがいくつも立てかけられているのは、当社ならではの光景かもしれません。
(海老沼社長)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



進んで対応できる人材に成長します」と海老沼社長は言う。

外商課の富樫さんも、趣味の柔道を通じて会長に声を掛けられたのが縁で、5年前に中途入社した。

「入社時は、膨大な量の商品に戸惑いもありました。小さい頃から使っている定番商品もあれば、日々増えていく新商品もあり、業界はどんどん進化しています。お客様のご要望に応えるためには、私自身も変化に対応していかなければいけないと常に考えています」

オフィス内装の仕事が増加しつつある現在、施工管理技士の社外研修を受講する取組も始めている。

「オフィス内装は昔のような堅苦しいものばかりではなく、女性的なセンスも求められるようになってきています。現在、営業職は男性ばかりなのですが、今後は是非女性も採用していきたいですね」と語る海老沼社長。同社に初の女性営業職が誕生する日は近いかもしれない。



「足りないところを見つけて補っていける人材になりたい」（西村さん・左）。「失敗したり落ち込んだりしても、周囲に支えてもらっています」（富樫さん・右）



創業の地に今も文具店を構える。このほか、青砥駅に「ぶんぐ屋」、京成船橋駅にも「ぶんぐ屋ネクスト船橋店」がある

期まで一緒に過ごすことができ、とても感謝しています」

社風を一言で表すと「自由闊達」。長年働くベテラン社員が多い中でも、若手が発言しづらいということはなく、お互いが遠慮なく意見を言い合える雰囲気だという。

「皆がのびのびと仕事をしています。組織としては、ちょっと自由すぎるくらいかもしれませんね」（海老沼社長）

前向きさが成長のカギ
人材の充実で変化に対応

同社は新卒採用に意欲はあるものの、離職者が少ないため特に求人広告などを出しておらず、紹介によって入社する中途社員が多い。

「取扱商品に関する知識は、働きながら少しずつ身に付けていってもらいます。特定の教育担当者は決めていませんので、自分から率先して前向きに仕事に取り組む姿勢が求められます。それができる人は、お客様の困り事に



2012年に就任した海老沼社長。「会長の人徳も引き継がれるようになりたいですね」



紙の伝票類の需要は減少しているが、いつでもお客様の要望に応えられるよう、エビヌマでは膨大な種類を常時揃えている



“和”を大切に
する社風が育てる
文具とオフィス用品の
スペシャリスト

エビヌマ株式会社

子どもにとっても大人にとっても必需品である文具や、仕事をする上で欠かせない事務用品。次から次へと新商品が生み出される分野だからこそ、お客様のニーズを把握し、最適な商品を提案する力が必要となる。その力を育てるのが、自由で和気あいあいとした社内環境だ。

近いと思っています。お客様への納品も、担当の営業が直接伺います。その際にお客様とコミュニケーションをとることによって、新たな困りに気付くこともあります。そこが当社の強みであり、ネット通販とは異なる点です

“和”を重んじる方針に共感し
長く勤務する社員が多数

パート社員を含めた平均勤続年数は25年。離職者が非常に少ないのが特徴だ。その理由について、海老沼社長は「創業者である会長（前社長）の人徳」と語る。

「創業時から経営方針に“和”を掲げ、組織の和・取引先の和・地域の和を大切にしてきた人です。利益の追求だけでなく、和を重んじることによって会社は発展するという考え。その人柄を慕って長く働き続けてくれる社員が多いのだと思います」

経理部の西村さんも、そんな会長を慕う従業員のうちの一人。

「子どもの病気や学校行事などで仕事を休むことが多かったのですが、子どもが成長して一段落した矢先、母の介護が必要になり、申し訳なく思っていました。会長が『親は見てあげなさい』と言ってくれたおかげで、母と最

直接会うことを大切に
文具事務用品を販売

町の文具店としてスタートしたエビヌマは、2017年に創業50周年を迎えた。その間、小売業のほか卸売業、納品業へと販売スタイルを拡大。現在は文具のみならず、オフィス家具や内装、OA機器など、幅広く取り扱っている。

「オフィスで使うものは、ご要望があれば何でも扱います。お客様が困っていることを伺い、適切な対応をするのが当社の仕事です」と話す海老沼社長。「販売業というよりもサービス業に

株式会社大原セレモニーハート
会社概要



- 設立年：1973年6月
- 資本金：2,000万円
- 代表取締役：茂木 圭吾
- 従業員数：10名
(内、女性従業員7名)
- 〒136-0072
東京都江東区大島1-21-6
- TEL：03-3681-1009
- http://www.o-heart.co.jp
- 事業内容：
葬祭業、冠婚葬祭互助事業、仏壇仏具等販売、散骨事業など



当社が地域貢献の一つとして位置付け、毎年欠かさず参加しているのが地元のお祭り・子ども神輿です。祭りの日は朝からホールを解放し、休憩所として使ってもらっています。女性社員は祭りの参加者に飲み物やお菓子を配ったり、茂木社長や私は子どもと一緒に神輿を担いで町内を練り歩いたり、社員総出で参加しています。とにかく住民の皆さんと一緒に汗を流すこと、皆さんの笑顔を見ることが好きですし、その気持ち伝わっているからこそ、私たちのことも信頼していただけているのだと思います。もちろん、これからも地元のお祭りに関わっていきますので、機会があればぜひ覗いてみてください！
(遠藤主任)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



ちの事業部はそれぞれ担当するお客様は異なるのですが、仕事の内容はほぼ同じですので、お互いにカバーしやすいということもあります。人数が少ない分、コミュニケーションが取りやすいということも、きちんと休みを取れる一因になっていると思います」と言う。

時代の変化を恐れ
ない攻めの経営

時代とともに、葬儀のあり方が大きく変わってきているという。歴史のある同社でも、仕事の仕方をどんどん変えていかなければならない状況だ。ITの導入は従業員の働き方改革のためだけではなく、お客様サービスの向上にも使われている。例えば、どのような祭壇にするのか、タブレットでいろいろパターンをその場で見せて、顧客の納得感を高めているという。今後はタブレットだけでなくモバイル型PCを社員に支給する予定だ。

地域住民が全幅の信頼を寄せる裏には、老舗といえど変化を恐れぬ攻めの経営があった。

ITを使った働き方改革
業界では異例の休みやすさ

働き方改革では、まず年次有給休暇取得率アップを狙い、2ヶ月に1回、通常の休日プラス有給休暇で3連休の取得を推奨。更に、1時間単位での有給休暇を取得できる制度も作った。こうした取組により、有給休暇の取得率は上昇、特に事務職では取得率が100%に達しているという。他の大手葬祭業から転職してきたというカスタマー事業部の馬場さんは「確かに休みやすいですね。どうしても突発的な対応があり、休みにくい業種なのですが、通常のシフトの休みもきちんと取れています。社員同士でうまく連携し、お互いに助け合いながら休みを取っています」と言う。

社員の連携に欠かせないのが、全社員に配布されているタブレット端末だ。全員のスケジュールをクラウド上で共有し、前日には翌日の予定を全体にメールで共有。更に当日の朝のミーティングでその日の動きを確認するなど、スケジュール管理を徹底している。カスタマー事業部の遠藤主任は「私た



より良いサービスを提供するためにも働き方改革を進めなければならないと語る茂木社長



左から馬場さん、遠藤主任、そして同じカスタマー事業部の山本さん。「お客様の“ありがとう”がやりがいです」(山本さん)



タブレットで祭壇を映し出し、色や形をその場で変えて、見ることができる



相談する側は、このように祭壇を確認することができる



江東区大島を中心に、地域に密着した葬儀社として知られる大原セレモニーハート。宗派を問わず使用できるホール、故人の思い出を語り合える会席所などを完備し、有資格者による心のこもった対応も評判となっている。地域住民と信頼関係ができていのが同社の強みだ。

イベントがあるごとに同社のホールを無料で開放し、地域住民との交流を図っている。例えば、観光バス発着の拠点として、朝6時の出発前からホールを開け、出発前にトイレを使ってもらい、発車まで休んでもらうといったことを長年続けている。また、長い歴史があるゆえ、近親者を亡くすと同社に葬儀を依頼する地域住民とは、子どもの頃から同社を知っているため、深い信頼関係ができているという。

もう一つ、同社が大切にしているのが、「思いやり」だ。葬祭業には、故人のエンディング・ステージを個性豊かに演出する力とともに、遺族に対す

る思いやりが絶対に欠かせない。「自分の家族に思いやりが持てない人が、お客様に思いやりが持てるわけではない」(茂木社長)と、家族との時間を大切にするため、同社では働き方改革に乗り出している。



近隣にある事前相談サロン「INORIE」の一角。時代に合った小型仏壇や供養品の販売も行う

100年続く老舗の葬儀会社
地域住民から絶大な信頼を得ている

株式会社大原セレモニーハート

事業継続の鍵は
地域密着と思いやり

都営地下鉄新宿線・西大島駅から徒歩5分の住宅地に立つ、大原セレモニーハート。創業は大正10年(1921年)で、まもなく創業100年になるという老舗だ。

「葬祭業で創業100年というのは、恐らく他にはあまりないと思います」と述べるのは、茂木社長。これだけ長く事業を継続することができた秘訣は、「地域密着」と「思いやり」だという。

「地域密着」については、地域のイ

株式会社ケア・ウイング
会社概要

- 設立年：2012年4月
- 資本金：250万円
- 代表取締役：保田 峰義
- 従業員数：25名
(内、女性従業員 20名)
- 〒115-0045
東京都北区赤羽 2-48-4
ニュー末広ビル 6F
- TEL：03-5249-8753
- http://care-wing.co.jp
- 事業内容：
在宅介護事業



事務所から歩いて10分くらいのところに荒川が流れています。ちょっと気分を変えたいな、という時は土手に出ることもありますね。

大小のビルが立ち並び駅前や住宅街を抜けると、一気に視界が開けます。時には草の上に寝っ転がって、広い空を独り占め。水が流れる音や風で草が揺れる音を聞きながら深く呼吸をすると、頭の中もスッキリしてきます。

川沿いを駆け抜ける自転車や、ぶらぶらと散歩するおじいさんたちをポーッと眺めているうちに、すっかりリフレッシュ。事務所に戻り、もうひと頑張りできます。
(谷口さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



取る。優先して休日を指定できる「希望休制度」を利用し、上手に予定を立てる。

「制度を利用し、旅行に出かける人も多いです。事務所には従業員からのお土産がよく置いてあります」（保田代表）

更に、介護関連の資格を取得した際には講座受講料を全額負担する制度を設置したり、マネジメント職に向けて中長期にわたる数値目標を定めている。これも“優しい気持ち”をキャリアに還元させるための仕組みだ。

思いやりのあるケアが、利用者の感動を呼び生きたる希望をもたらす。“優しさ”を届ける仕事は、多くの人を笑顔にさせる仕事でもあるのだ。

従業員のほとんどは、入社して初めて在宅介護に携わる。最初に1カ月間の研修期間を設け、徐々に仕事に慣れていく。同行研修では、訪問先の先輩社員の仕事を手伝いながら、ケアのポイントを自分なりの言葉でまとめるという。

実際の介護は5、6人のチームを組んで行う。訪問介護のシフト調整などを行うサービス提供責任者の和貝さんは、自分の感情にもきちんと向き合ってくれる仲間がいて、心強いと感じている。

「介護の現場にいと、ご利用者様の最期を迎える場面も出てきます。その時の感情を抑え込むことなく、気持ちを共有できる素適な職場です」

想いをキャリアにつなげる
充実の支援制度

仕事がハードな分、休息はしっかり



人を笑顔にする仕事がしたいと、広告代理店、人材サービスを経て、介護の世界に行きついた保田代表。経験を活かし、高校や大学で講師も務める



定期的に行われるミーティング。業務は外出中心のため、社員全員が顔を合わせられる貴重な機会。最後は「エイエイオー」で締めくくる



学生の頃はサッカーに打ち込んでいたこともあり、チームプレイに魅力を感じるという谷口さん



和貝さんは入社6年目。「できる限り、この仕事を続けていきたいですね」



入社時研修で使用する「ケア・ウイングマニュアル」。社内での過ごし方や働き方はこの1冊で理解できる



「優しさ」が評価され、強みになる
笑顔あふれる在宅介護サービス

株式会社ケア・ウイング

約4人に1人が高齢者の北区で、在宅介護サービスを展開するケア・ウイング。「高い専門性でみんな笑顔へ」を理念に掲げ、充実した研修と綿密なチームワークでスタッフが着実に成長できる。介護に不可欠な“優しい気持ち”をキャリアに反映する制度も備わっている。

スタッフ主導の組織運営
心強い仲間と頑張れる

社内では“考える”機会も多い。年度初めには、人事考課と会社からの期待に基づき、自分の言葉で2つの目標を設定する。また年に5回行われる勉強会では、「みんなが笑顔になる」ことにつながるテーマを従業員主導で決め、グループワークを毎回取り入れ、対話を重ねながら自分の考えを深めていく仕組みを盛り込んでいる。また最低限のガイドラインはあるが、制服はない。仕事にふさわしい服装を自分で“考える”のである。

を考え続けながら提供する、“プロ”の姿勢が求められる。

「考え“続ける”ことが大事なんです。ご利用者様にはいろいろな方がいますし、状況も常に変化します。その瞬間のベストを常に考え、議論し、実践できる組織を目指しています」（保田代表）

常勤ヘルパーとして働く、入社2年目の谷口さんは「入浴介助をしながら、ご利用者様の体に痣がないかなども確認します。ご本人はちょっとぶつけたという認識でも、重大なけがや機能障害につながる恐れもあるからです」と、小さな気付きを大切にしている。

笑顔になれるサービスを
常に考え“続ける”組織

「介護は、相手を想う“優しい気持ち”が強みになる仕事だと思います」と話すのは、北区赤羽で在宅介護サービスを手掛ける、ケア・ウイングの保田代表だ。高齢者の自宅に出向き、訪問介護や介護計画書を作成する居宅支援を行う。

『高い専門性でみんな笑顔へ』という理念には、サービスを受ける側だけでなく、スタッフや関係者全員が幸せになってほしいという想いを込めた。その実現には、良いサービスとは何か

中央・城北地区

株式会社光陽社
会社概要

- 設立年：1949年10月
- 資本金：1億円
- 代表取締役：犬養 岬太
- 従業員数：192名
(内、女性従業員45名)
- 〒113-0034
東京都文京区湯島2-16-16
- TEL：03-5615-9061
- <https://www.koyosha-inc.co.jp>
- 事業内容：印刷業



“健康経営”の取組の一つになっているのが、ウォーキングアプリの導入です。ゲーム感覚で運動を促すことができるアプリで、毎月決められた目標歩数を歩いた人には、報奨金として1,000円のクオカードが進呈されます。また、ポイントがたまると、全国の名産品が当たる抽選会にも参加できます。

私はウォーキングアプリを活用する常連組。歩数の目標が定められているので、歩くことに対するモチベーションが高まり、自身の健康管理に役立っています。また、クオカードがもらえる点も、やる気が維持されるので、嬉しいです。(営業部 佐藤さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



び付いている。その一例が、「改善提案制度&改善提案報酬制度」だ。『小さなことからコツコツと、できることからコツコツと』をスローガンに、全社員が普段の業務で気付いた改善ポイントを、いつでもメールで提案できる仕組みだ。この制度を取り入れたことで、現場目線での改善が推進されたという。また、職場環境について、入社2年目、東日本営業本部の土屋さんは、「社員同士の距離感が近いので、分からないことがあれば上司に気軽に相談できます。アットホームな雰囲気があることが、働きやすさにつながっていると感じています」と語る。

光陽社は、“人”と“技術力”の2本の柱を強固に築くことで、社員の働きがいを生み出し、急速に変化する印刷物へのニーズに応え続けている。

康宣言」を掲げている。健康を重視する経営に取り組む理由を、業務本部人事・総務グループ課の松尾課長は、こう説明する。

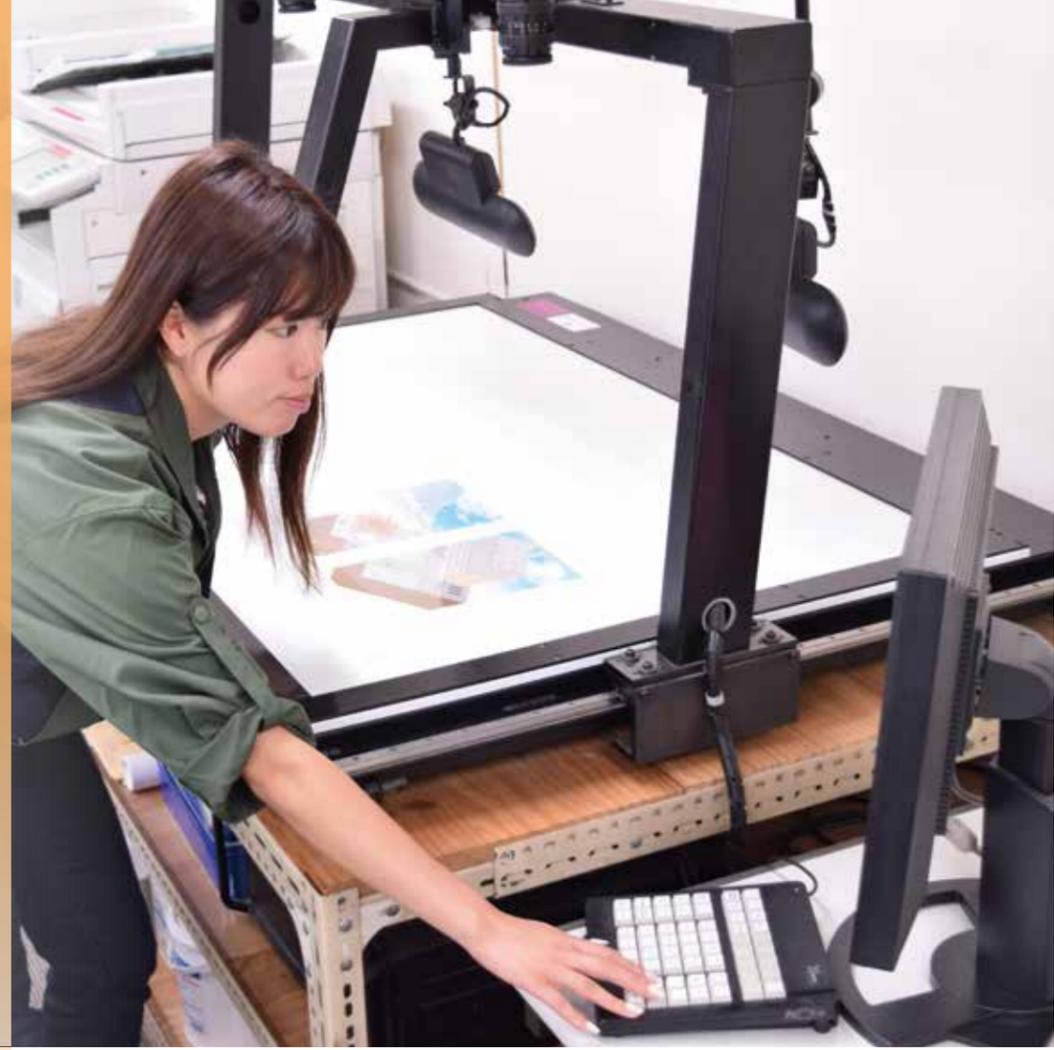
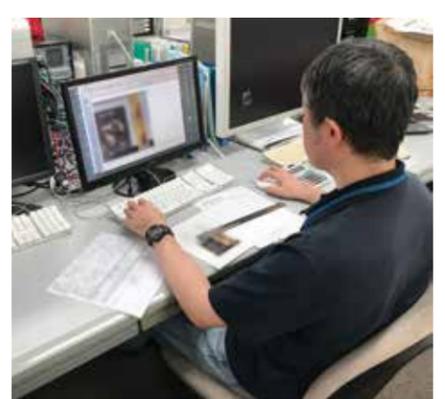
「会社が持続的に成長していくためには、会社を支える“人”を大切にしなければなりません。社員が健康を保つことで、生産性が高まり、モチベーションの向上にもつながります。具体的には、“食と運動”にスポットをあて、『定期健康診断の100%実施』『カロリーコントロール』『禁煙サポート』などを実施しています」

年齢や実績にとらわれず 意見が言いやすい社内風土

若手社員が意見を言いやすく、風通しが良い社内風土も職場の活性化に結



長い歴史の中で培ってきた技術で、企画から制作、納品まで、顧客の細かなニーズに対応



“健康経営”を土台に進化を続ける 情報加工のプロフェッショナル

株式会社光陽社

『誠実、創意、確実』を社訓に据え、お客様に喜ばれる“良いものづくり”の提供を目指す光陽社。ものづくりを通して社会の進歩発展に貢献するとともに、“健康経営”を理念に掲げ、全従業員の働きがいと幸せを追求している。

画像処理技術を用い 高品質な画像を提供

1949年、印刷工程における写真製版を主な生業として創業した光陽社。現在は主業務を印刷にまで拡大し、企画提案、制作、納品までを一貫管理することで、クライアントのニーズに応える体制を整えている。生産本部の千葉部長は、約70年の歴史を持つ光陽社が秀でている点は、写真製版で培った画像処理の技術だと言う。

「長年培ってきた技術をもとに、お客様の求める高品質な画像を提供できる点が強みの一つです。記憶色や期待

色といった、心理的な要因による見え方の違いにまで配慮した画像を生み出せる点が特徴です」

その高い画像処理技術を支えるのが生産本部のプリプレスグループだ。扱う商品は、会社案内や商品カタログといった印刷物全般から、ロゴマークやキャラクターのデザイン、ウェブサイト、デジタルサイネージコンテンツなど幅広い。入社1年目で東日本dicプリプレスグループの村上さんは、「お客様のニーズは多種多様なため、その要望を的確に応えられるように切磋琢磨しています。時には看板などのインテリジェントな依頼もあり、突発的な案件

に対して柔軟に対応できた時は嬉しいですね」と語る。

社員の健康を第一に考え “健康経営”を理念に掲げる

“健康経営”という理念を掲げ、会社全体で健康管理に取り組んでいる点も同社の特徴になっている。印刷業界は3K(きつい、危険、きたない)の職場というイメージを抱きがちだが、同社では業界特有の負のイメージを払拭するため、「健診・重症化予防に取り組みます」「過重労働防止に取り組めます」などの7項目で構成される「健



「現場目線の改善を繰り返すことが、業務の効率化につながる」と話す千葉部長



オフィスには「健康宣言」と「健康優良企業認定証」が掲示されている

サンプリント株式会社
会社概要

- 設立年：1980年2月
- 資本金：2,000万円
- 代表取締役：板倉 俊久
- 従業員数：26名
(内、女性従業員8名)
- 〒141-0031
東京都品川区西五反田6-2-7
- TEL：03-5719-2341
- <https://www.sun-print.co.jp>
- 事業内容：
図面・書類の電子化、オンデマンド印刷、各種製本



五反田オフィスには、観葉植物がいっぱい！エントランスや執務室はもちろん、会議室には大小合わせて3鉢のグリーンが飾られています。オフィスは半地下にあるうえ、業務上、窓を開けるのは難しいため、観葉植物が置いてあるとないとでは社内の空気も大違いです。

仕事では細かな作業も多く、気持ちが張り詰めることも。でも優しい緑色が視界に入ると、良い具合にほぐれていきます。

社内に緑に囲まれているのは、育てるのが上手なスタッフがいるおかげ。彼女の手にかかれば、植物たちもみるみる元気に。両国のオフィスにも、癒しスポットを作ろうと思います。

(鹿島さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



データ加工も働き方も柔軟に対応
アナログとデジタルの技術でニーズに応える

サンプリント株式会社

精度の高いデータ出力や手作業による製本など、長年培われてきた技術を大切にしてきたサンプリント。近年はアナログとデジタル事業を融合したハイブリットなサービスの実現に挑む。その原動力は、向上心高く、誇りを持って仕事に臨む従業員たちのスピリットにある。

積極的な設備投資で
情報のデジタル化に挑む

五反田に本社を構えるサンプリントは、データ出力やオンデマンド印刷、製本などを手掛け、55年の歴史を持つ。

「建設会社から依頼される設計図の複写や製本で培われてきたノウハウにより、多種多様なお客様のニーズにお応えしてきました。そうした従来のアナログ技術に加え、近年は『データ制作』や『コンテンツ制作』など、デジタル技術を活用した情報加工にも力を入れています」(板倉社長)

特に、紙の情報をPDFなどデジタル

データ化する際のスキャニング技術は得意分野だ。積極的な設備投資により、スキャナーはポスターほどの大きさまで一気に読み取れるものや、書籍の読み取りでも影のできにくいものなど、特殊な機材が揃う。

そうしたスキャニング技術を取り扱うDCセンターの江村さんは、「新しい機材が入れば操作や調整の仕方を覚える必要がありますし、データの仕様や画像ソフトのトレンドも変化し続けています。勉強が欠かせません」と語る。

職人気質でありながら
風通しの良い組織

採用は原則、職種別に行う。印刷、製本、スキャニングと専門的な技術を要する部門が多いためだ。入社後は専属の教育担当のもと、OJTで仕事を覚える。今年入社した製本グループの福西さんは、ベテラン社員の方に教わりながら、手作業での製本業務に勤む。

「以前は大きな工場で、部数の多いものを機械で製本していました。ここでは自分の手を動かし、1冊ずつ生まれていく実感があります」(福西さん)

全社朝礼では、社員が毎日交代で1



「長年の信頼と実績から、顧客との関係も良好です。営業活動は既存顧客とのパートナーシップを重視しています」と語る板倉社長



スキャニングや出力現場では、最新の機材がズラリと並び、それぞれの特徴や癖をおさえた微細な調節が、画像や出力物の質を左右する



デジタルサイネージのサービス開発に取り組むDCセンターの原さん(右)。商品化に向け工夫を凝らす



定期的に行われる全社懇親会。会場はグルメに詳しい女性社員によるセレクトだ

分間スピーチを行う。テーマは自由だが、業界の動きや機材の効率的な操作法など、仕事にまつわる小ネタを披露する社員も見られる。入社6年目の両国オフィスの鹿島さんは、「じっくりと取り組むことが好きな人が多い」と自社を評する。“職人気質”というと、頑固な印象を持つかもしれない。だが同社には、提案に耳を傾ける風通しの良さがあるという。

「以前、個人的にメモしていた仕事の進め方やポイントを、少し体裁を整えてマニュアルを作成し、周りにシェアすることを提案しました。ほかの社員が使っている場面を見かけると、役に立ってたようで嬉しいです」(鹿島さん)

個々の事情に応じて
働き方をサポート

30名弱の従業員が、家族のようなつながりを持つ会社である。働き方や処遇については個々の状況に柔軟に応じてきた。

「会社側も、従業員の働く意欲をできる限りサポートしたいという考えです。過去には本人の事情で出社できなくなった社員に、テレワークを採用しました。今はオフィスに復帰し、再び社内で活躍しています」(板倉社長)

前出の江村さんも、パート勤務でありながら出産・育児休業を取得することで、培ってきたキャリアを無駄にせず働き続けることができているという。

働き方改革の一環で、業務時間の短縮にも着手している。2018年5月からは、完全週休2日制の導入を実現させた。

「お客様にも導入の意図を説明し、1年がかりで準備を進めてきました。残業も事前申請を徹底し、時間を区切って働くことを浸透させました」(板倉社長)

結果、労働時間は短縮したが業績はアップ。生産性向上に成功している。

時代の流れを見極めながら、アナログとデジタル、双方の利点を生かす。その姿勢は、事業だけでなく働き方にも生かされているのである。

武陽ガス株式会社
会社概要



- 設立年：1960年5月
- 資本金：7,200万円
- 代表取締役社長：山下 真一
- 従業員数：99名
(内、女性従業員27名)
- 〒197-0022
東京都福生市本町17-1
- TEL：042-551-1621
- <http://www.buyo-gas.co.jp>
- 事業内容：
都市ガス・電気事業



当社のガスを利用していただいているお客様を対象に、定期的に専門講師による料理教室を開催しています。炊飯鍋やガスオープンを活用して、ガスの便利さや、ガスを使った料理のおいしさを味わっていただいています。メニューにもよりますが、費用は一人1,500～3,000円ほどで、一般的な料理教室と比べるとかなりお得。特に人気が高いのは、パンやお菓子、それにクリスマスのローストチキンなど、季節のイベントに合わせた料理です。先日はコーヒー会社とのコラボ企画で「おいしいコーヒーの淹れ方」をテーマにしたら、初参加の方が増えました。これからもどんどん新しい企画を考案して、若い方や男性も気軽に参加して下さるようになれば嬉しいですね。
(鈴木さん)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



「家が近いので、定時の17時30分に退社すれば保育園のお迎えに間に合います。地元企業の良いところですが、急な早退や半休を取ることもありますが、上司が臨機応変に対応してくれて感謝しています」

10年以上前は残業が多かったが、2交代のシフト勤務制を導入し、夕方以降のお客様対応を遅番に引き継ぐ体制に変えたところ、残業時間は年々減り、月平均15時間程度まで下がったという。

「最近も、事務的な定型作業を任せられるパートさんを雇って営業の業務負担を減らすなど、取組はまだ続いています。少子化の進む現代、子どもが増えるのは会社にとっても嬉しいこと。今後も家庭と両立しやすい職場環境を作っていきたいですね」(小澤部長)

る。新入社員であろうと、どんなに小さなアイデアであろうと、気軽に意見を出すことができ、会社側もきちんとそれに応える仕組みが整っている。

育児中でも働きやすい環境
家庭と仕事の両立支援

営業開発部の井上さんは、8年前に入社し、女性で初めての営業職となった。「苦労もあったでしょうが、彼女は成果を出してくれた。その結果、毎年のように女性の営業が増えています」と小澤部長は語る。

営業に限らず、実際に家の中に上がることが多い点検員なども女性を増やしたところ、お客様から好評だった。今後も女性は増えていく見込みだ。

井上さんは2児の母でありながらフルタイム勤務を続けている。



「私の妻も当社の社員で、育児休業を3回取得しています」と話す小澤部長



一般家庭への訪問営業を担当する井上さん



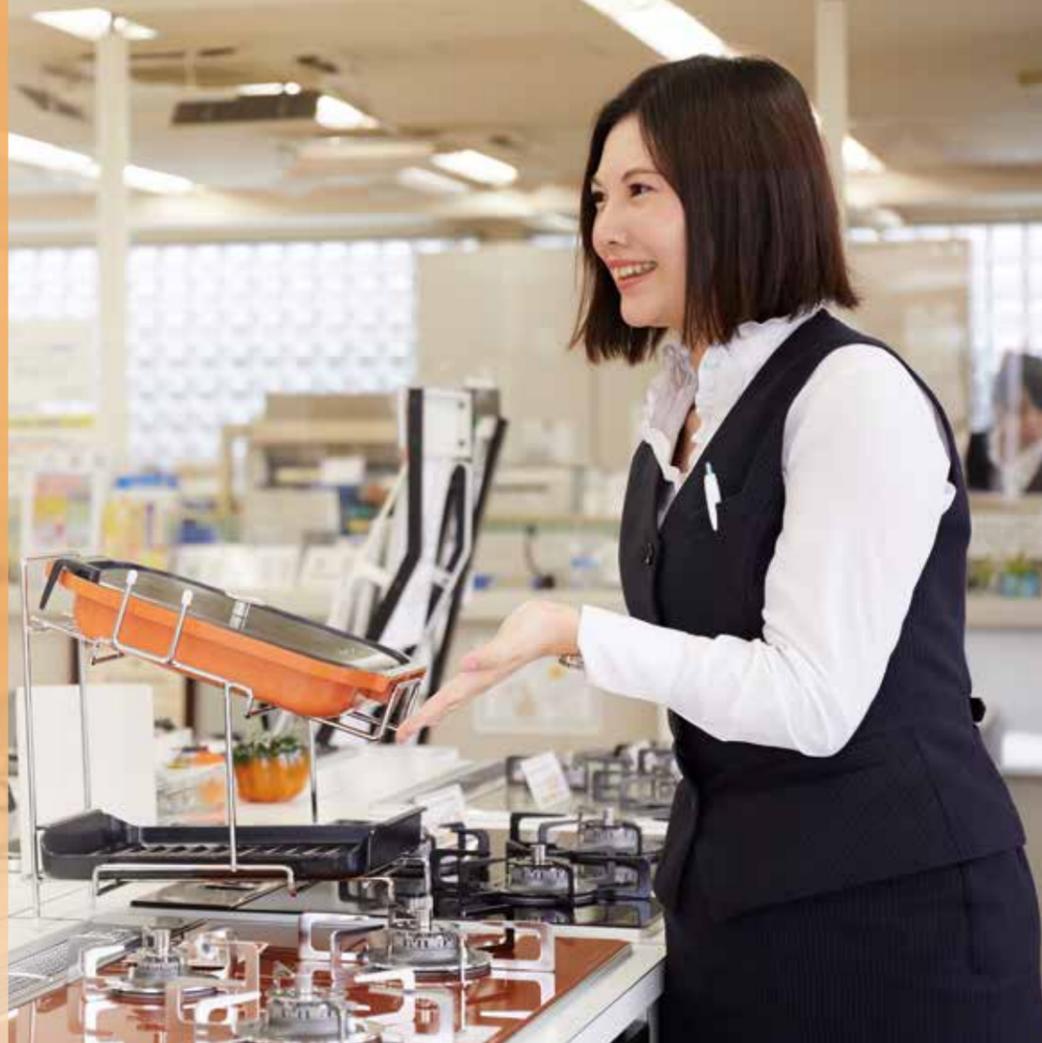
料理教室の運営やセールの企画などに携わる鈴木さん



福生七夕まつりの飾り付けは新入社員の初仕事。写真は2017年のもので、ピンクの車も発泡スチロール製の手作り



お客様に毎月配布する新聞。手前は昭和56年発行の第1号



抜群のチームワークでガスと電気を供給
地域活性化にも全力で取り組む

武陽ガス株式会社

都市ガスの主な原料である天然ガスは、二酸化炭素や窒素酸化物などの排出量が少ないクリーンなエネルギー。西多摩地域で都市ガスを供給する武陽ガスは、ガスの普及のみならず、様々な形で地域の発展や安全・安心に貢献する“地元密着”企業だ。

地域の振興と安全のため
労力を惜しまず貢献する

武陽ガスは、福生市や羽村市など、西多摩地域に都市ガスを供給する。ガス工事、ガス器具の販売や修理、リフォームまで幅広く手掛けるほか、近年は電気の販売も行っている。

同社の大きな特徴は、地域への貢献度の高さにある。地元の中学生の職場体験の受け入れ、「福生七夕まつり」の飾り付け、警察・消防とのパートナーシップ関係など、地域の発展や安全につながることであれば何でも取り組んできた。

「地域が活性化しなければエネルギー事業は成り立ちませんし、安心してガスをお使いいただくには地域との信頼関係も重要です」と語るのは、総務部の小澤部長。

「車で走り回ることが多い仕事なので、全社員が救命救急の講習を受け、不測の事態に対応できるようにしています。実際に、倒れた人を救助して表彰された社員もいます」

大切なのはチームワーク
部署をまたいだ協力体制

仕事上で最も重視されるのはチーム

ワーク。お客様にガスを安全に使ってもらうためには「ヨコの連携」が非常に大切だという。

入社8年目、営業部の鈴木さんは「業務内容が多岐にわたり、部署を超えて協力する必要があるので、コミュニケーション能力が求められます。社内の雰囲気はとても良く、上司との距離も近く、何でも相談しやすい環境です」と話す。

「アイデア申告」と呼ばれるユニークな制度もある。社員が日々の業務の中で気付いた、ちょっとした改善点を提案する。その提案は全社員に共有され、有益な提案をした社員は表彰され

株式会社メガネ・コンタクトの井上
会社概要



- 設立年：1983年11月
- 資本金：1,000万円
- 代表取締役：赤羽 洋卓
- 従業員数：35名
(内、女性従業員17名)
- 〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台4-3
- TEL：03-3518-9100
- <https://www.contact-inouye.co.jp>
- 事業内容：
メガネ、コンタクトレンズの販売



2017年春に約3週間の育児休業を取得しました。男性も取得できる制度があると聞き、少しでも妻の育児に協力したいと思い申請したところ、会社から「ぜひ取ってください」と言ってもらえました。取得中は他店の社員が応援に来てくれて、店長の私でも問題なく休むことができました。普段から社員同士の仲が良く、お互いに頼みごとがしやすい関係性ができているおかげだと思います。3週間という短い期間ではありましたが、毎日子どもと接することで成長が実感でき、育児休業を取得して良かったと感じました。
(町田店長)



さらに詳しい会社情報は

東京カイシャ
ハッケン伝！
サイトへ



プライベートと両立して楽しく働き
メガネ選びでお客様の悩みを解決

株式会社メガネ・コンタクトの井上

メガネ・コンタクトの井上は都内に4店舗を展開しており、メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売を行っている。医療の街・御茶ノ水で今年創業35周年を迎え、常にお客様が途絶えない。専門知識が求められる販売員の仕事には、同社ならではのやりがいと働きやすさがある。

お客様の悩みを聞き
解決できる商品を提案

安価なメガネ販売店が続々と登場する中、メガネ・コンタクトの井上で取り扱うのは主に高価格帯の商品だ。国内産で品質の高いメガネは、かけ心地がよくアフターケアも充実しており、長く使ってもらえることができる。そうした魅力を伝えつつ、お客様の悩みを解決するのが同社の販売員の仕事だ。お茶の水本店の市川副店長は次のように話す。

「『自分に何が似合うのかが分からない』というお客様には、それぞれのメ

ガネが似合う理由、似合わない理由をご説明します。どういう雰囲気仕上げたいのか、どういう場面で使いたいのかなどをヒアリングし、より楽しんでかけられるメガネをご提案することが大切です。お客様の悩みを聞きながらご提案するので、距離がとても近く感じますね」

専門性の高い知識で
お客様からの信頼を獲得

販売業の中でもメガネは特に専門性が高く、覚える内容も幅広い。そのため入社後は新入社員研修を受け、店舗

配属になった後は各担当者に指導を受ける。販売、加工、検査など、分野ごとにプロフェッショナルである先輩が担当となるため、専門性の高い知識を身に付けることが可能だ。また、新商品を入荷した時にもメーカーの担当者が開催する勉強会で商品の特性をしっかりと学んだ上で販売している。こうした知識は実際の業務に直結し、更にお客様からの信頼や、お客様の喜びにすぐに反映されるため、モチベーションにもつながっている。お茶の水本店で販売スタッフとして働く宮下さんは次のように話す。

「お客様が『あなたで良かった』と



もともと販売スタッフだった赤羽社長は、今も各店舗をまわり、現場の空気を経営に生かしている



メガネ作り体験など、子ども向けのイベントも開催している



左からサンクレー店の田島さん、宮下さん、市川副店長。田島さんは「コンタクト販売は、お客様の声がダイレクトに届くことが多いです」と話す



高級感があり落ち着いた雰囲気の内には、様々なブランドのメガネが並び

感謝して下さったり、『頑張りがなさい』と励まして下さったりするとやりがいを感じます。私を指名して来店して下さるお客様も少しずつ増えてきたので、もっと頑張ろうと思います」

お客様と社員の両方が
幸せになれる会社を目指す

年間休日数が124日と多く、プライベートと両立できる環境にあるのも同社の魅力だ。創業以来、週休2日と祝日休みを継続しており、小売業界ではめずらしく毎週日曜日は全店舗で定休日となっている。

「日曜日がお休みですが、『それでもここで買いたい』と思ってもらえる店づくりを目指しています。お客様に支持されるためには、買い物を楽しんでもらうことが最重要。お客様と社員の

両方が幸せになれる会社でありたいと考えています」(赤羽社長)

さらに同社では、年に一度従業員アンケートを実施し、疑問に思っていることや会社への意見、異動の希望などを提出する。面談を経て異動が実現したケースもある。

「社長との距離が近いので、『こういう企画をやりたい』『こんなフレームがあったらお客様に紹介したい』といった提案には応じてくれることが多いです」(市川副店長)

そうした連携は風通しの良い社風があってこそ。明るく和気あいあいとした雰囲気の中で、市川副店長は「同僚というよりは、家族に近いです」と言うほどだ。社員自身が楽しみながら販売しているからこそ、お客様にも買い物を楽しんでもらえるのだろう。

魅力ある企業の世界にご招待

トーキョー・シゴト・ワゴン

しごとを体感

参加費無料

友達同士で参加OK!

就職活動証明書も発行



トーキョー・シゴト・ワゴンとは?



貸切バスで1日2社、都内の中小企業を訪問し、仕事などを体験する参加型の無料ツアーです！東京には「業界をリードする高い技術力、サービス」や「海外からも評価される品質の高い製品」、また「すぐれた雇用環境」など、大企業と遜色ない「中小企業」がたくさんあります。このような優良企業の現場を訪問し、経営者の想いや現場で働く社員の熱い想いに触れて、将来の仕事を考えるきっかけにしてみませんか。



中小企業の技術・情熱・やりがいを体感!

会社の概要や事業の説明に加え、社内や工場の見学など、実際に働く現場を見ることができます。また、仕事を模擬体験するワークショップや、経営者や社員の方々との交流会も実施しています*。

*回によって、実施内容は異なります。

1日の流れ

オリエンテーション

- ・当日のスケジュール
- ・企業訪問時の注意事項
- ・訪問企業の事前情報共有 など

1社目 (90分~120分)

- ・職場見学、しごと体験
- ・経営者、若手社員との交流 など

昼食 (お弁当を用意しております!)

2社目 (90分~120分)

- ・職場見学、しごと体験
- ・経営者、若手社員との交流 など

振り返り

- ・体験した感想の共有
- ・今後の活動にどう生かしていくかの相談 など

*1社だけの参加も可能です。

社内見学/工場見学



社員が実際に働いている様子が見られる社内見学



ものづくりの現場を体感することができる工場見学

参加者の声

「ものづくりの現場を初めて見る事ができた。たくさんの人が協力あって、一つのものでき上がることを知った」

ワークショップ/グループワーク



アドバイスを受けながら製品を設計するためのイラストを作成



「顧客訪問の際、名刺の他に持っていきたいものをグループで考案

参加者の声

「グループワークは仕事のイメージが付きやすかった。商品を作る仕組みや商品開発の流れを知ることができた」

会社説明/事業説明



会社紹介ビデオやパワーポイントを使って事業を紹介



社長自ら製品や技術、自社の強みについて説明

交流会



中小企業の様々な魅力に気付くことができる交流会



若手社員に仕事のやりがいや面白さを質問

参加者の声

「若手社員の方々が、仕事にやりがいを感じている様子が伝わってきて、魅力的だった」

トーキョー・シゴト・ワゴン参加者募集中! 2019年2月まで随時実施予定!

[申し込み方法] 東京カイシャハッケン伝! のウェブサイトですべて受け付けています
<http://www.kaisyahakken.metro.tokyo.jp/wagon>



トーキョー・シゴト・ワゴンの動画も掲載中!



お知らせ 1 「きづくインターンシップ」のお知らせ

就職活動の第1歩！ 中小企業の魅力に「きづく」インターンシップです

都内の魅力的な中小企業でインターン！ テーマに沿った3社で就業体験ができます。中小企業や業界の魅力に「きづいて」、就活へGO！

■ **参加できる方**：都内にキャンパスのある協力大学^{*}に所属する学生。学年不問。（大学院、大学、短期大学、専門学校）

※協力大学とは、本事業の学生への周知等に協力していただいている大学等です。大学名は下記HPでご確認ください。

※HPに掲載がない学校の方で、参加を希望される方は下記問合せ先までご連絡ください。

■ **インターンシップ受入企業**：都内に本社又は事業所のある従業員300人以下の企業

■ **内容**：様々なテーマから1つを選び、テーマに関連した中小企業3社で就業体験をします。事前・事後研修を含めて、全5日間と3日間のコースがあります。

■ **実施時期**：平成30年7月23日～平成31年3月（予定）

■ **HP**：<https://tokyo-internship.com>

■ **問合せ先**：東京都学生インターンシップ支援事業事務局 TEL：03-5913-6426



ご不明な点は、
お気軽に
お問合せ
ください！！

お知らせ 2 公正な採用選考について

採用選考に当たっては、応募者本人の適性や能力を公正に評価することが必要であり、本籍・出身地、家族、生活環境等、応募者本人の責任によらないことや、思想・信条等、日本国憲法で保障されている個人の自由に関することを応募書類や面接等でたずねることは、就職差別につながるおそれがある上、職業安定法第5条の4に抵触する違法行為につながります。

最近、新規大学等卒業予定者に対して「エントリーシート」「ES」等の名称で、インターネットを利用して応募書類の提出を求める企業が増えています。このような形式の応募書類を含めて、企業は、応募者の適性と能力に関係のない事項（本籍地、家族等）や応募者の自由であるべき事項（思想、信条等）をたずねてはいけません。

採用選考時の応募書類や面接等で、職業安定法第5条の4に抵触するおそれのある情報提供を企業から求められた場合は、最寄りのハローワークに相談しましょう。

※大学生の方は、東京新卒応援ハローワークに相談（TEL：03-5339-8609）してください。

※高校生の方は、学校に報告、相談してください。

詳しくは、TOKYOはたらくネットをご覧ください。URL <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/kaizen/kosei>

お知らせ 3 こんなことがあればぜひご相談を

長時間労働

法定労働時間は1日8時間、1週間40時間が原則です。使用者は、労使協定の締結など一定の手続きを行えば例外的に法定労働時間を超えて働かせることができますが、月45時間を超える時間外労働が連続すると、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まるとされており、できる限り時間外労働を短くすることが重要です。

残業代不払い

残業代不払いは違法です。残業代は過去2年間分請求できます。給料明細、働いた時間のメモ、タイムカードやシフト表、就業規則のコピーなどの記録を大切にしておきましょう。

辞めさせてくれない

民法では、期間の定めのない労働契約は、労働者が退職を申し出た日から2週間を経過すると、使用者の承諾がなくても契約は終了するとされています。ただし、就業規則等で「1か月前」程度の期間が定められている場合には、トラブルを避けるために、民法の規定を念頭に労使で話し合うことが大切です。

パワーハラスメント

侮辱やひどい暴言といった精神的な攻撃は、働く人の尊厳や人格を傷つける許されない行為です。職場のパワーハラスメントとは、同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与え又は職場環境を悪化させる行為をいいます。

損害賠償

労働者が、不注意で会社の備品を壊すなど、過失により会社に損害を与えた場合であっても、業務上のリスクを労働者のみに負わせるのは不公平だとして、損害賠償については制限されるのが一般的です。また、損害賠償が認められる場合でも、給料から差し引くことは法律で禁止されています。

電話相談 ※日曜、祝日及び12月29日～1月3日を除く。土曜日については祝日及び12月28日～1月4日を除く。

東京都ろうどう110番

0570-00-6110

月～金：午前9時～午後8時
土：午前9時～午後5時

来所相談（予約制）【労働相談情報センター】

事務所	電話番号	担当区域（会社所在地）	事務所	電話番号	担当区域（会社所在地）
飯田橋	03-3265-6110	千代田区、中央区、新宿区、渋谷区、中野区、杉並区、島しょ	亀戸	03-3637-6110	台東区、墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区
大崎	03-3495-6110	港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区	国分寺	042-321-6110	（下記の区域を除く多摩地域）
池袋	03-5954-6110	文京区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区	八王子	042-645-6110	八王子市、府中市、調布市、町田市、日野市、狛江市、多摩市、稲城市

このほか、若年者向けにパンフレットや動画を通じて、「労働法」の基礎知識の周知を行っています。

こちらの動画もチェックしてください。URL <http://manabu.metro.tokyo.jp/douga>



お知らせ 4 主な若年者・女性向け就職等支援機関一覧

若年者向け

【東京しごとセンター】

東京しごとセンターヤングコーナー （ハローワーク飯田橋 U-35）	電話：03-5211-2851 電話：03-5212-8609
東京しごとセンター多摩	電話：042-329-4510

若年者の就職活動に関して、個別カウンセリングや、セミナー、各種イベントなどを実施しています。また、ヤングコーナーには、『ハローワーク飯田橋 U-35』が併設されており、求人情報検索や、就職相談・職業紹介などをご利用いただけます。

【新卒応援ハローワーク】

東京新卒応援ハローワーク	電話：03-5339-8609
八王子新卒応援ハローワーク	電話：042-631-9505

新たに大学・高専・専修学校等を卒業される方、概ね卒業後3年以内の既卒者に特化した専門のハローワークです。就職相談や求人紹介、企業情報の提供のほか、各種セミナー等も開催しています。

女性向け

【東京しごとセンター】

女性しごと応援テラス	電話：03-5211-2855
------------	-----------------

【マザーズハローワーク】

マザーズハローワーク東京	電話：03-3409-8609
マザーズハローワーク日暮里	電話：03-5850-8611
マザーズハローワーク立川	電話：042-529-7465

※都内7ヶ所のハローワーク（品川、大森、池袋、木場、八王子、町田、府中）にも「マザーズコーナー」を設けています。

仕事と子育ての両立を目指す方の就職支援を行っており、キャリアカウンセリングや職業紹介、セミナー等も開催しています。



東京都

中小企業しごと魅力発信プロジェクト



TO 東京 KYO カイシャパッケン伝! Guide^{Vol.}15

編集・発行／東京都産業労働局雇用就業部就業推進課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL 03-5320-4628